

防衛省 整備計画局 防衛計画課 御中

諸外国軍隊の予備役制度に関する調査

[報 告 書]

令和4年3月31日

株式会社 現代文化研究所

諸外国軍隊の予備役制度に関する調査 報告書 目次

第1部	アメリカ	
	概観	3
	はじめに ～予備役に関する基礎情報～	4
	第1章 予備役	7
	第1節 予備役の概要(採用等の条件)	7
	第2節 軍種別及び任務別の分類	10
	第3節 予備役総兵力	14
	第4節 予備役総兵力を向上させるための施策	15
	第2章 予備役将官等	20
	第1節 予備役将官の有無	20
	第2節 軍種別の予備役の階級別役割、人数	20
	第3節 招集された場合の運用例	31
	第4節 招集されていない場合の勤務形態	33
	第3章 招集	35
	第1節 予備役の動員名称、命令権者、動員目的、規模、 招集される対象、期間など	35
	第2節 最近の招集事例	36
	第4章 予備役に対する平素の訓練等	39
第2部	イギリス	
	概観	42
	はじめに ～予備役に関する基礎情報～	43
	第1章 予備役	44
	第1節 予備役の概要(採用等の条件)	44
	第2節 軍種別及び任務別の分類	47
	第3節 予備役総兵力	49
	第4節 予備役総兵力を向上させるための施策	51
	第2章 予備役将官等	53
	第1節 予備役将官の有無	53
	第2節 軍種別の予備役の階級別役割、人数	54
	第3節 招集された場合の運用例	58
	第4節 招集されていない場合の勤務形態	59
	第3章 招集	60
	第1節 予備役の動員名称、命令権者、動員目的、規模、 招集される対象、期間など	60
	第2節 最近の招集事例	62
	第4章 予備役に対する平素の訓練等	64
第3部	フランス	
	概観	67
	はじめに ～予備役に関する基礎情報～	69
	第1章 予備役	71
	第1節 予備役の概要(採用等の条件)	71
	第2節 軍種別及び任務別の分類	71
	第3節 予備役総兵力	73
	第4節 予備役総兵力を向上させるための施策	74
	第2章 予備役将官等	75
	第1節 予備役将官の有無	75
	第2節 軍種別の予備役の階級別役割、人数	76
	第3節 招集された場合の運用例	76
	第4節 招集されていない場合の勤務形態	76
	第3章 招集	78
	第1節 予備役の動員名称、命令権者、動員目的、規模、 招集される対象、期間など	78
	第2節 最近の招集事例	79
	第4章 予備役に対する平素の訓練等	81

第1部 アメリカ

概観

アメリカ軍は世界最大規模の軍隊を持ち、正規軍に加え7つの予備役軍(連邦陸軍、陸軍州兵、連邦海軍、海兵隊、沿岸警備隊、連邦空軍、空軍州兵)に分かれている。

州兵は所属する州の軍隊・警察(沿岸警備隊以外の連邦組織に属する軍は、警察の役割は果たせない：Posse Comitatus Act)としての役目を果たし、かつ連邦軍としても動員される特別な予備役である。何らかの不安情勢発生時(長期化・暴動化するデモ等)の場合でも地元警察の後に動員されるのが州兵であり、それぞれがその州に居住していることもあり、地元の問題への支援の役目を果たす動員に住民からの感情的な抵抗があるケースは少ない(一般的に市民感情として、自然災害等以外の場合には、連邦当局による介入を連邦政府への干渉と見なす住民も多い)。州兵隊は個人としてではなく所属する部隊単位で動員される。

予備役軍に入隊する際の条件は、一般的にはどの軍種でも変わらないが、選抜試験が厳しい海兵隊予備役や特殊部隊等では、資格は単なる「最低条件」であり、公式には契約任期等もそれほど変わらないことになっているが、実際には既にその能力・献身的な精神等を実証している人物が選ばれているケースが多い。

実際の動員の際には、予備役軍だけで派遣されることもあるが、その際も軍組織として各予備役部隊が任命割り当てを達成するための計画性と安定性を確保することができるよう支援する正規支援(FTS：Full-time Support)職員(文官・軍人)が同行し、戦略任命及び派遣準備の実行に必要な日常作業の組織化、管理、指示、採用、訓練を管轄し、物資・機器・航空機の管理、必要な他の作業に対応する。実際の動員時は派遣先基地での作業だけでなく、物資や人の搬送・敵地監視から保安業務、他国との合同演習を含め、幅広い任務に割り当てられている。

入隊を促進し、また、予備役部隊を維持するためにどうするかのアプローチは各国の福祉制度等の整備状況により大きく異なり、アメリカとイギリスの軍で一番大きな違いがある点である。

アメリカはやはり根底が開拓者の国であり、連邦国家の市民生活への介入を好まない風潮が今でも根強い。日本やイギリスを含めた他の先進国では、一般的な国民健康医療制度も、「社会主義的制度」として反発があり、現在でも国の医療プログラムは、高齢者・障害者のためのメディケアと低所得者のためのメディケイド以外はなく、大部分の市民は雇用先また個人で民間保険会社の健康保険に加入している。この月の保険金(掛け捨て)は、民間企業であれば単身であっても月700ドル(約8万円)前後、家族プランであれば1,800~2,000ドル(約20~23万円)であることも珍しくなく、企業が一部負担することが多いものの、高い技能の求められない職業や正社員でない場合には、負担額が大きいことが一般的で、予備役の個人47.20ドル(約5千円)、家族で238.99ドル(約2.8万円)は、使用できる医療施設に限られたとしても超破格である。

そのため、高額な医療費・高等教育機関での教育費といった生まれた環境により人生のオプションが限られている経済的に衰退した地域で生まれた若者、低所得層・親が移民等の若者にとって、軍への入隊は社会的な尊敬と安定を約束する職業オプションとなっている。自費では大学での学士号の取得が難しい場合、大学在学中から士官訓練プログラムに参加すれば、学費および生活費が支給されたり、あるいは高卒で入隊し、その後、大学や職業訓練等を受けることができるプログラム、持ち家購入のための特別ローンプログラム、安価な生命保険等、地元に残っていれば得られない社会経済的地位の向上の機会が与えられる。また、逆に軍への入隊が伝統的に「愛国心の象徴」として尊重されている環境下では、高学歴で安定した技能や職業を持っている場合でも、予備役として入隊し、任務が「崇高な奉仕精神」の表れとなることも多い。

米軍で有名な「入隊ボーナス」は、契約から基本訓練プログラムへの参加が一定期間内である場合という基本的なものから、必要とされている技能を持つ場合には20,000

ドル(約 230 万円)、大学の学費ローンの残額を 50,000 ドル(約 570 万円)まで返済援助等、かなり手厚い手当が、6年から8年の任務契約で受けられる。ただし、一度正式に任務契約すると、その放棄は一般的な状況では非常に難しいと考えられている。

基本手当は月に一週末と年間継続2週間の訓練を満たせば、殆ど全軍の基本手当は同じで、それに階級、任期年数、技能等のボーナスが付く。報酬を受けることのできる訓練期間には上限がある。

動員命令の種類に関しては、近年一番広範に動員された例は「部分動員」の2020年からのCovid-19対応支援で、「大統領予備役招集PRC」は2014年のエボラ感染症発生(西アフリカ)と2020年の西半球における強化国防省対薬物戦略がある。退役予備役等も非志願で招集される「総動員」は、本土が絡む大規模な戦時を想定しており、近年の招集例はない。

はじめに ～予備役に関する基礎情報～

参考:予備役の構成

各軍の予備役	予備役の種類
(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve	即応予備役 RR:Ready Reserve
	待機予備役 SR:Standby Reserve
	退役予備役 Retired Reserve-Inactive
(2) 陸軍州兵 Army National Guard	即応予備役 RR:Ready Reserve
	待機予備役 SR:Standby Reserve
	退役予備役 Retired Reserve-Inactive
(3) 連邦海軍予備役 Navy Reserve	即応予備役 RR:Ready Reserve
	待機予備役 SR:Standby Reserve
	退役予備役 Retired Reserve-Inactive
(4) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve	即応予備役 RR:Ready Reserve
	待機予備役 SR:Standby Reserve
	退役予備役 Retired Reserve-Inactive
(5) 沿岸警備隊 Coast Guard	即応予備役 RR:Ready Reserve
	待機予備役 SR:Standby Reserve
	退役予備役 Retired Reserve-Inactive
(6) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve	即応予備役 RR:Ready Reserve
	待機予備役 SR:Standby Reserve
	退役予備役 Retired Reserve-Inactive
(7) 空軍州兵 Air National Guard	即応予備役 RR:Ready Reserve
	待機予備役 SR:Standby Reserve
	退役予備役 Retired Reserve-Inactive

Reserve Component (RC)予備役構成部隊とは、米軍の予備役を包括した呼称で、7つの予備役に分かれており、また、正規の予備役と州兵の2種類に分けられる。

- (1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve
- (2) 陸軍州兵 Army National Guard
- (3) 連邦海軍予備役 Navy Reserve
- (4) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve
- (5) 沿岸警備隊 Coast Guard
- (6) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve
- (7) 空軍州兵 Air National Guard

州兵は州知事管轄下で、州内の緊急時に動員される州枠内での役割と連邦法下の役割の両方を担う。

軍勤務経験、状態、また個人の状況等により、上記の7つの予備役は、さらに次の3つに分かれている。

- ① 即応予備役(RR:Ready Reserve)

即応予備役(RR)はいつでもまたどこでも必要な任務を果たすことが求められる即応度の高い訓練された予備役である。州兵の部隊または個人で構成され、戦争時または国家非常事態時に、現役部隊を増強するための招集義務を負っている。即応予備役は、以下の3つのサブカテゴリーで構成される。

- 選抜予備役(SELRES : Selected Reserve)は、即応予備役の中で最も信頼度が高い。定期訓練を実施する予備役兵／部隊であり、正規任務遂行への招集に短期間で応じることが求められる。即時増員が必要な場合に他の予備役に先駆けて最初に招集される。一か月に1週末、一年に2週間の訓練義務があり、正規任務遂行中の軍人と同じ手当・処遇を受けている。これには、最初の任務のための訓練中の者も含まれる。

[招集]

総動員(FM: Full Mobilization)、部分動員(PM: Partial Mobilization)、大統領予備役招集(PRC: Presidential Reserve Call-up)。

- 個人即応予備役(IRR : Individual Ready Reserve)は、大統領予備役召集権限で召集されるか、「無給訓練」または「現役任務」での訓練、勤務を選択しない限り、通常訓練や年次訓練等、いかなる軍事活動(定期的な招集活動を除く)への参加も義務づけられてはいない。個人即応予備役は、主に、訓練を受けた者、現役部門または選抜予備役に勤務した経験がある者、兵役義務(MSO)が残っている者で構成される。

[招集]

総動員(FM: Full Mobilization)、部分動員(PM: Partial Mobilization)、大統領予備役招集(PRC: Presidential Reserve Call-up)および特別 PRC。

- 非活動型州兵(ING : Inactive National Guard)は、選抜された予備役ではなく、即応状態に準じた予備役で、州兵で構成される。隊員は割り当てられたユニットで年に1回の訓練を受ける必要がある。動員中、隊員は自分のユニットのみならず、他のユニットで活動する場合がある。ING 隊員は、契約上の義務を負っているという点で、個人即応予備役(IRR)に似ているが、ING 隊員は、退職金や給与のために訓練を受けることはできず、昇進の資格もない。現在、ING を維持しているのは、陸軍州兵のみとなっている。

[招集]

配属部隊が総動員(FM : Full Mobilization)、部分動員(PM : Partial Mobilization)で招集された場合。大統領予備役招集(PRC : Presidential Reserve Call-up)は対象外。

② 待機予備役(SR: Standby Reserve)

待機予備役(SR: Standby Reserve)は、活動状態リスト(ASL: the Active Status List)と非活動状態リスト(ISL: the Inactive Status List)の2つの予備役で構成されている。待機予備役のメンバーは、議会で承認された場合、合衆国法典12301条と12306条に基づき、強制的に現役兵として招集される可能性がある。

活動状態リスト(ASL: the Active Status List)

ASL に所属する隊員は、「現役」の状態にあるとみなされ、昇進/昇格、退職ポイントの獲得、特定の種類の任務の遂行等の資格を得ることができる。ASL への配属は、COMDTINST M1001.28 (シリーズ)に記載されている基準を満たす隊員のみが対象で、これには、苦難による制限がある隊員や、重要連邦職員と認定されている隊員が含まれる。ASL メンバーは、給与を受け取らず、福利厚生も限定的である。

非活動状態リスト(ISL: the Inactive Status List)

ISL に所属する隊員は、「活動停止」状態にあるとみなされ、昇進・昇格、退職

ポイント獲得、いかなる種類の自発的任務も遂行することはできない。これらの隊員の動員能力は極めて限られており、即応予備役の人数が足りない場合にのみ招集される。将校が自分の昇進を一時停止するのに有効な手段であるが、所属するメンバーには、ほとんど何のメリットもない。

[招集]

総動員(FM: Full Mobilization)の場合のみ。

③ 退役予備役(Retired Reserve-Inactive)

退役予備役は60歳になり退職手当(retired pay)を受け取っているまたは受給資格を持つ予備役で構成され、主要なものとしてRET-1とRET-2がある。

RET-1: 退職金を受け取っている隊員。RET-1になるためには、最低20年間の十分な総勤務年数(TQS: total qualified service)があった上で、適格退職年齢に達し、RET-1への移行を申請する必要がある。

RET-2: 退役しているが、退職金を受け取っていない。RET-2になるためには、20年以上の十分な総勤務年数(TQS)を有し、RET-2への移行を申請する必要がある。RET-2資格の隊員は、通常、最低退職年齢である60歳に達していない(早期退職の資格がある場合を除く)。

[招集]

総動員(FM: Full Mobilization)及び一部はa recall of retireesで招集。

第1章 予備役

第1節 予備役の概要(採用等の条件)

1 陸軍

(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve

ア 応募資格

- ・ 米国国民または永住権保持者
- ・ 18～35 歳(親権者同意があれば 17 歳)
- ・ 健康で基準以上の身体能力を持つこと
- ・ 公序良俗に関する意識を有すること(役職により他の資格が求められる場合あり)
- ・ 高等学校卒業資格保有者が望ましい。または同等学力保持者(GED: General Educational Development. アメリカやカナダで高等学校卒業程度の学力を証明するための試験)も入隊可能。
- ・ Armed Services Vocational Aptitude Battery test (ASVAB: 軍隊職業適性試験)および身体能力検査を実施

イ 任用契約期間等

- ・ 定期訓練(1カ月に1週末、一年に2週間)
- ・ 技能により正規任務に招集される可能性あり
- ・ 任務契約期間は3年から6年(職種等による)
- ・ 必要があれば8年間まで招集対象

(2) 陸軍州兵 Army National Guard

ア 応募資格

- ・ 米国国民または永住権保有者
- ・ 18～35 歳(親権者同意があれば 17 歳)
- ・ 医療、身体、道徳基準を満たしていること。
- ・ 少なくとも 11 年生、高等学校卒業資格者または同等学力保持者(GED 認定書)であること
- ・ ASVAB(軍隊職業適性試験)の基準を満たしていること。

イ 任用契約期間等

- ・ 定期訓練(1カ月に1週末、一年に2週間)
- ・ 招集対象期間は全8年。その内3年から6年は「即応予備役」となる。残りの期間は IRR として勤務することもできるが、緊急時には招集対象となる。

2 海軍

(1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve

ア 応募資格

- ・ 入隊: 米国国民または永住権保持者、士官: 米国国民。
- ・ 入隊: 18～39 歳(親権者同意があれば 17 歳)、士官: 19～45 歳。
- ・ 入隊: 高等学校卒業資格保有者または同等学力保持者(GED)、士官: 認可された4年制大学課程を卒業した学士号取得者
- ・ 入隊: 軍隊職業適性試験(Armed Services Vocational Aptitude Battery test/ASVAB)の基準を満たしていること、士官: 将校適性評価(the Officer Aptitude Rating/OAR)と航空選抜適性

試験(Aviation Selection Test Battery/ASTB)の基準を満たしていること)。

- ・Military Entrance Processing Station (MEPS:軍入隊手続駐屯地)の身体検査及び海軍の身体、精神、倫理規定を満たしていること。

イ 任用契約期間等

- ・定期訓練(1カ月に1週末、一年に2週間)
- ・技能により正規任務に招集される可能性あり
- ・任務契約期間は3年から8年(職種等による)

(2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

ア 応募資格

- ・入隊：米国民または永住権保持者、士官：米国民。
- ・入隊：18～28歳(親権者同意があれば17歳)、士官：20～28歳。
- ・入隊：高等学校卒業資格保有者、士官：高等学校卒業資格および学士号の両方を取得した者
- ・身体的な健康度を Initial Strength Test (IST：初期身体能力試験)で評価。
- ・犯罪歴調査の基準を満たし、重罪判決歴がないこと。

イ 任用契約期間等

- ・計8年間で、以下から選択制
 - ①最初の6年間は教練課程(drilling status)として、最後の2年間はIRRに所属。ポスト9/11 GI法案を利用する場合は、このプログラムを選択する必要がある。
 - ②最初の5年間は教練課程、最後の3年間はIRRに所属。
 - ③最初の4年間は教練課程、最後の4年間はIRRに所属。

(3) 沿岸警備隊 Coast Guard

ア 応募資格

- ・入隊/士官：米国民または永住権保持者。
- ・入隊：18～39歳(親権者同意があれば17歳)、士官：21～41歳。
- ・入隊：高等学校卒業資格保有者。同等学力保持者(GED)は稀に入隊許可、士官：(士官プログラム)学士号以上取得者または申請時大学最終年者、学士号取得前の場合には最低2年の承認大学課程を完了しており、E-4, E-5 給与等級等であること(士官プログラム)。
- ・Armed Services Vocational Aptitude Battery test(ASVAB：軍隊職業適性試験)と軍入隊身体検査の基準を満たしていること。
- ・入隊：扶養家族は3人まで、士官：扶養家族は配偶者を含む7人まで。
- ・警察および他の軍組織での犯罪歴調査(重罪判決を受けたものは入隊不可)。信用調査評価あり。
- ・人格評価として、態度、専門意識、正直さ、敬意、言語能力、身長体重、身体能力、勤労倫理等を確認する。

イ 任用契約期間等

- ・ 8 年。一般的な契約条件は最初の 4 年は正規任務、後半の 4 年は非登録状態可。契約期間が 3, 4, 6 年の場合もある。
- ・ 定期訓練(1 カ月に 1 週末、一年に 2 週間)。

3 空軍

(1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

ア 応募資格

- ・ 米国国民または永住権保持者。
- ・ 18～38 歳(親権者同意があれば 17 歳)。
- ・ 健康であること。
- ・ 公序良俗に関する意識を有すること(役職により他の資格が求められる場合あり)。
- ・ 高等学校卒業資格保有者が望ましい。または大学授業 15 単位を持つ同等学力保持者(GED)。
- ・ Armed Services Vocational Aptitude Battery test(ASVAB : 軍隊職業適性試験)、筆記試験の基準を満たしていること。
- ・ Military Entrance Processing Station (MEPS : 軍入隊処理ステーション) 身体検査の基準を満たしていること。
- ・ 身体、道徳基準審査の基準を満たしていること。

イ 任用契約期間等

- ・ 8 年。6 年間定期訓練(1 カ月に 1 週末、一年に 2 週間)参加、2 年間非登録(訓練参加は不要。大統領令で招集される場合あり)。
- ・ その後の任期更新は 2 年から 6 年。

(2) 空軍州兵 Air National Guard

ア 応募資格

- ・ 合法居住者。
- ・ 18～39 歳(親権者同意があれば 17 歳)。
- ・ 身長/体重が基準内であり、勤務が可能な健康状態であること。
- ・ 高等学校最終学年に在学中でなければ、高等学校卒業資格保有者または同等学力保持者(GED)。
- ・ 犯罪歴等の問題がないこと。病歴や過去の薬物使用等にも基準あり。
- ・ ASVAB(軍隊職業適性試験)の基準を満たしていること。

イ 任用契約期間等

- ・ 6 年。期間中に基本訓練・技術訓練課程・定期訓練(1 カ月に 1 週末、一年に 2 週間)参加。
- ・ 状況により 8 年間まで招集対象。

第2節 軍種別及び任務別の分類

1 陸軍

- (1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve
 - ・情報・サイバー技術(INFORMATION & CYBERTECHNOLOGY)
 - ・バイオハザード防護(BIOHAZARD PROTECTION)
 - ・輸送(LOGISTICS)
 - ・民事(CIVIL AFFAIRS)
 - ・軍事情報支援作戦(MILITARY INFORMATION SUPPORT OPERATIONS)
 - ・医療サービス(MEDICAL SERVICES)
 - ・国土安全(HOMELAND SECURITY)
- (2) 陸軍州兵 Army National Guard
 - ・州兵行政・総務(Guard admin and relations)
 - ・航空(Aviation)
 - ・サイバー(Cyber)
 - ・施設技術(Engineer)
 - ・歩兵(Ground forces)
 - ・砲兵(Heavy Weapons)
 - ・情報(Intelligence)
 - ・整備士・保守(Mechanic & Maintenance)
 - ・医療(Medical)
 - ・軍需(Munitions)
 - ・憲兵(Police & Protection)
 - ・特殊部隊(Special Forces)
 - ・需品(Supply & Logistics)
 - ・技術・ネットワーク(Technology & Networking)
 - ・輸送(Transport)
 - ・STEM－科学(STEM-Science)
 - ・STEM－技術(STEM-Technology)
 - ・STEM－工学(STEM-Engineering)
 - ・STEM－数学(STEM-Mathematics)

2 海軍

- (1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve
 - ・芸術/通信(ARTS & COMMUNICATIONS)
 - ・航空(AVIATION)
 - ・事務/輸送/行政(BUSINESS, LOGISTICS & ADMINISTRATION)
 - ・建設(CONSTRUCTION)
 - ・電子/技術(ELECTRONICS & TECHNOLOGY)
 - ・救難(FIRST RESPONDER)
 - ・整備/機械(INDUSTRIAL & MECHANICAL)
 - ・情報/通信/暗号(INTELLIGENCE, INFORMATION & CRYPTOLOGY)
 - ・法律(LLEGAL)
 - ・医療(MEDICAL)
 - ・礼拝(RELIGIOUS SERVICES)
 - ・科学/施設(SCIENCE & ENGINEERING)
 - ・特殊部隊(SPECIAL OPERATIONS)

(2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

- ・海兵空地任務部隊(MAGTF : Marine Air-Ground Task Force)
- ・指揮部隊(CE : Command Element)
- ・地上戦闘部隊(GCE : Ground Combat Element)
- ・航空戦闘部隊(ACE : Aviation Combat Element)
- ・兵站戦闘部隊(LCE : Logistics Combat Element)

(3) 沿岸警備隊 Coast Guard

米国沿岸警備隊(United States Coast Guard) は、陸海空軍、海兵隊と並び合衆国軍の一部門と位置付けられている(14 U.S.C. § 1、10 U.S.C. § 101)。

海洋の安全、管理及び保安に関する種々の任務を有し、米国の内水、港湾、領、排他的経済水域、公海及び、沿岸国の同意の下に、他国の水域での活動を行う。陸海空軍、海兵隊が原則として Posse Comitatus Act(民警団法 : 連邦法で、国内の治安維持に陸軍、空軍、州兵の動員を禁止)により法執行権限を有しないのに対し、沿岸警備隊の代表的な役割のひとつは法の執行、海上警察権の行使である。州兵は連邦軍ではないため州当局から動員された場合には、民警団法に抵触せず国内の治安維持活動に参加できる。

- ・掌帆兵曹(Boatswain's Mate)
- ・料理専門家(Culinary Specialist)
- ・損害制御員(Damage Controlman)
- ・電気技師兵曹(Electrician's Mate)
- ・電子機器技術者(Electronics Technician)
- ・掌砲兵曹(Gunner's Mate)
- ・医療サービス技術者(Health Services Technician)
- ・情報システム技術者(Information System Technician)
- ・情報専門家(Intelligence Specialist)
- ・調査官(Investigator)
- ・機械技術者(Machinery Technician)
- ・海洋科学技術者(Marine Science Technician)
- ・海上保安専門家(Maritime Enforcement Specialist)
- ・電測専門家(Operations Specialist)
- ・広報専門家(Public Affairs Specialist)
- ・倉庫管理員(Storekeeper)
- ・事務職兵曹(Yeoman)
- ・港湾保安部隊 : Port Security Units (PSUs)
- ・船舶乗組員 : boat crews (BM/MK),
- ・地上側保安職員 : landside security personnel (ME)
- ・指令部隊 : Command and Control element (OS)
- ・支援職員 : support personnel (MK/DC/EM/HS/YN/SK)
- ・港湾保安部隊 : Port Security Units (PSUs)
- ・船舶乗組員 : boat crews (BM/MK),
- ・地上側保安職員 : landside security personnel (ME)
- ・指令部隊 : Command and Control element (OS)
- ・支援職員 : support personnel (MK/DC/EM/HS/YN/SK)

士官用プログラム

- Direct Commission Lawyer Selected Reserve (DCL-SELRES)
- Direct Commission Physician Assistant Selected Reserve (DCPA-SELRES)
- Selected Reserve Direct Commission (SRDC) Program

3 空軍

(1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

- 行政・支援・サービス(Admin/Support/Services)
- 航空宇宙保守(Aerospace Maintenance)
- 航空機乗組員航空機材(Aircrew Flight Equipment)
- 航空機乗組員運用(Aircrew Operations)
- 航空機乗組員保安(Aircrew Protection)
- 指令・統制システム(Command and Control Systems)
- 契約・請負(Contracting)
- サイバー戦争(Cyber Warfare)
- サイバー空間支援(Cyberspace Support)
- 施設システム(Facility Systems)
- 財政(Financial)
- 燃料・給油(Fuels)
- 歴史(Historian)
- 情報(Intelligence)
- 輸送計画(Logistics Plans)
- 保守管理(Maintenance Management)
- 資材管理(Materiel Management)
- ミサイル・スペースシステム保守(Missiles and Space Systems Maintenance)
- 軍需・兵器(Munitions and Weapons)
- 弁護士補佐(Paralegal)
- 広報(Public Affairs)
- 遠隔操縦航空機(Remotely Piloted Aircraft : RPA)
- 保全(Safety)
- 科学応用(Scientific Applications)
- 保安隊(Security Forces)
- 特別捜査(Special Investigations)
- 特殊戦(Special Warfare)
- 輸送・車両管理(Transportation and Vehicle Management)
- 天候(Weather)
- 歯科職業分野(Dental Career Field)
- 医療職業分野(Medical Career Field)
- 牧師(Chaplain)
- 礼拝サービス(Religious Services)

(2) 空軍州兵 Air National Guard

- 航空機乗組員(Aircrew)
- 事業/運営/行政(Business, Operations, and Administration)
- 指令/統制(Command & Control)

- ・建設業(Construction Trades)
- ・サイバー技術(Cyber Technologies)
- ・健康/医療(Health & Medical)
- ・情報(Intelligence)
- ・警察/保安(Law Enforcement & Security)
- ・兵站/輸送(Logistics & Transportation)
- ・保守/修理(Maintenance & Repair)
- ・科学/技術(Science & Technology)
- ・特殊戦(Special Warfare)
- ・遠隔操縦航空機(Unmanned Aircraft Operations)

第3節 予備役総兵力(米国政府発行データに基づく2020年の12カ月平均値)

※ 予備役の分類ごとの推移については、別表資料を参照

1 陸軍

(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve

- ・2020年度人員予算：\$459,994,000(約515億円)
- ・2020年予備役の総兵力：189,466人

(2) 陸軍州兵 Army National Guard

- ・2020年度人員予算：\$819,504,000(約918億円)
- ・2020年予備役の総兵力：306,259人

2 海軍

(1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve

- ・2020年度人員予算：\$160,129,000(約178億円)
- ・2020年予備役の総兵力：59,200人

(2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

- ・2020年度人員予算：\$881,909,000(約988億円)
- ・2020年予備役の総兵力：36,774人

(3) 沿岸警備隊 Coast Guard

- ・2020年度人員予算：\$7,858,900(運営+支援：O&S) (約9億円)
- ・2020年予備役の総兵力：6,243人

3 空軍

(1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

- ・2020年度人員予算：\$168,959,000(約189億円)
- ・2020年予備役の総兵力：69,393人

(2) 空軍州兵 Air National Guard

- ・2020年度人員予算：\$314,339,000(約352億円)
- ・2020年予備役の総兵力：107,011人

(米国政府発行データに基づく期間内各月数の平均値)

※ ドル/円は2020年レート

第4節 予備役総兵力を向上させるための施策

0 全軍共通

(1) 医療/歯科保健サービス TRICARE の受給

- ・アメリカ国防厚生管理本部 (TRICARE Management Activity) は、アメリカ軍兵士の健康管理及び医療サービスを統括するアメリカ国防総省の現業部門。原語の「TRICARE」とは現役軍人、州兵及び予備役、退役軍人の三者を手厚く保護するという意味の造語で、全て大文字で表記する。健康管理及び医療サービスの受益者には家族も含まれる。(退役軍人の恩給年金はアメリカ合衆国退役軍人省が管理)
- ・選抜予備役 Selected Reserve または即応予備役 Ready Reserve は、正規任務についていない場合でも掛け金の 28% を自己負担することで医療保険に加入できる。

例) 2021 年 12 月の TRS (TRICARE Reserve Select) 医療保険は個人 (47.20 ドル/月: 約 5 万円)、予備役と家族 (238.99 ドル/月: 約 2.8 万円) である。

※ 一般民間企業の健康保険掛け金は、個人 400~600 ドル (約 4.5~7 万円)、家族で 1500 ドル (17.3 万円) 以上であることが多い

(2) 軍人保険

- ・格安の掛け金で最大 400 ドル (約 4.6 万円) までのグループ生命保険に加入が可能 (掛け金は被保険者の年齢に関わらず 1,000 ドルあたり \$.065)。

(3) 連邦退職プラン

- ・適格任務を 20 年果たした後、退役資格が得られる。1 年に退役ポイント 50 点を満たすと「年次適格任務」を果たしたとみなされる (月 1 週末、年 2 週間の訓練は退役ポイント 77 点に相当)。退役年数を満たしたものの退役年齢 (60 歳) に達していない場合には、退役後一部の福祉サービス (軍取引プログラム、軍内売店、米国と領地内の軍航空機に空席があれば利用可等) が使えるようになる。年金受給資格者 (任務の内容により 50~60 歳) であれば年金を受給できる。
- ・60 歳に達した時点で、正規軍退役者と同じ手当を得ることができる (空席があれば世界中の軍航空機での旅行、軍の医療ケアサービスを含む)。
- ・年金額は退役ポイントに基づいて計算される。例えば適格年数 20 年経過後の 2,500 ポイントで退職した場合には 6.94 年の正規軍の任務期間に該当し、この正規軍の軍人が (同じ階級として) 20 年の任務後受け取る年金が月 5,000 ドル (約 58 万円) だとすれば、予備役退役者の年金は 865 ドル (約 10 万円) (17.3%) となる。
- ・予備役動員期間の長期化に合わせ、一定条件を満たす予備役兵士の退軍年金受給年齢は 50 歳に引き下げられる。(医療保険は 60 歳のまま)

(4) 居住/交通費

- ・住宅基本手当の制度 BAH: Basic Allowance for Housing-Reserve Component/Transit (BAH-RC/T)
- ・VA HOME LOANS の申請資格が得られる。

- ・軍航空機に空席があれば無料で搭乗(範囲/対象者は軍種/勤務状態により異なる)。
- (5) 生活費等
- ・軍内売店/総合小売店の利用(Commissary and Exchange Privileges)
 - ・予備役本人とその家族は軍内の助成食材店が利用できる。
- (6) 動員された予備役の経済的損失の補填
- ・長期化する予備役の動員に合わせ、軍の給与と民間人としての給与の差額から来る経済的損失を補填するため、18か月継続動員、60か月内で24か月の動員、180日以上任務後180日以内にさらに180日の正規任務に動員された場合等、ケースに応じた補償プログラムもある。予備役の平均収入から軍の給与を差し引いた額で月50ドル(約6千円)以上3,000ドル(約35万円)未満を支給。州兵も米国法32条下で動員された際に同じ任務期間として計算される。
- (7) 連邦職員の給与差額補填
- ・動員命令により正規任務を継続する連邦政府職員の軍給与との差額を補填支給する。特定の条件下で動員命令後すぐに適用される。米国法32条下で動員された州兵は対象外。
- (8) 教育
- ・選抜予備(Selected Reserve)用の教育費手当受給(MGIB-SR)には6年間の任務契約が必要。
 - ・2021年10月1日時点でMGIB-SRは正規学生に全36か月まで月407ドル(約4.7万円)を援助する(正規軍の軍人は36か月まで付き2,150ドル(約24.8万円)で予備役手当は約5分の1)
 - ・学生ローン返済プログラム(STUDENT LOAN REPAYMENT PROGRAM)については、6年間の任務契約が必要。
 - ・軍が現在の学生ローン額50,000ドル(約580万円)までを返済援助する。教科書/教材等の手当も別途あり。
 - ・9/11後の退役軍人教育支援法
 - 9/11後の退役軍人教育支援法(The GI Bill Programs : Post 9/11 GI Bill Transfer of Education Benefits (TEB))は、一定任務基準を満たした退役軍人や、一定の動員命令による任務中に負傷した軍人が高等教育を受けるための費用を軍が一部もしくは全額負担するシステムの一部で、Transferプログラムはその高等教育費の支援プログラムの受給対象者(州兵であれば任務期間により対象となる給付額が変わるようです)の家族への変更、および死亡した軍人であればその家族が代わりに教育費支援を受けることができるシステム。一般的には公立大学であれば学費・手数料の全額負担(私立の場合には一定額まで負担)、住居費の一部の負担、教育関連費を負担する。
 - ・SELECTED RESERVE MONTGOMERY GI BILL (MGIB)
 - 大学教育に適用され、最大36か月間毎月最大384ドル(約4.4万円)までの学費を支給。任務期間の予備役にのみ適用される。
 - ・軍は様々な教育関連の支援プログラムを設けているが、その中には合わせて申請できるプログラムもあり、教育だけでなく継続技能訓練関連の費用も支給されるプログラムがある。
 - 例：家庭教師費月100ドル(約1.15万円)、移転費(1回)500ドル

(約 5.7 万円)、各免許・証書試験毎に 2,000 ドル(約 23 万円)、高等教育期間で学ぶために必要な全国試験の試験費。また追加の教育・訓練を受けるための学費の半額を奨学金として支給するプログラム、配偶者や子供にこの奨学金を移転することもできる。技術系 STEM 分野の奨学金は 9 か月延長支援も 2019 年度に発行され受給できるようになった。

・ DANTES プログラムは、米国軍人のための教育/職業計画を無料で提供するプログラム。文官部門からの入隊、軍内での昇進、退役から民間人としての次の就職活動等、人生設計を包括的にサポート。

(9) 昇進機会等

・ 言語能力を含む軍の特別訓練等の資格判定、人事/任務区分けで使用するための標準試験である軍人事試験：ARMY PERSONNEL TESTING (APT)の受験資格が得られる。

(10) 米国籍取得

・ 米国籍取得優先手続き(合法居住者の場合)。

1 陸軍

(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve

ア 30 日以上正規任務に動員された陸軍予備役は、医療/歯科保健を無料で受給できる。

イ 動員前手当

有事作戦に 30 日以上動員された陸軍予備役は、動員令の発行日あるいは正規任務に出頭する 90 日前のいずれかから医療/歯科保健を無料で受給できるようになる。

ウ 動員前手当

有事作戦に 30 日以上動員された陸軍予備役は、動員令の発行日あるいは正規任務に出頭する 90 日前のいずれかから医療/歯科保健を無料で受給できるようになる。

エ 陸軍予備役士官および准尉入隊希望者は、需要の高い分野の訓練と任用に参加し、無事に修了すると、20,000 ドル(約 230 万円)の現金ボーナスまたは 30,000 ドル(約 350 万円)の学費ローン支払いボーナスどちらかを選べる。

オ CONCURRENT ADMISSIONS PROGRAM (CONAP)

The Concurrent Admissions Program (Con AP)は、正規陸軍兵と陸軍予備役が、軍役の後そのまま大学に進むことができるように支援するプログラム。兵役期間中に大学の単位を取得することもできる。このプログラムは他の教育支援(the GI Bill, the Army Loan Repayment Program, Tuition Assistance)と同時に受給することができる。

カ TUITION ASSISTANCE PROGRAM

学費支援プログラム(Tuition Assistance)で任務期間外の大学学費の一部を陸軍が負担することがある。年度ごとに 1 学期最大 250 ドル(約 2.9 万円)を最長 16 学期まで支給する。

キ 各種大学奨学金：任務契約後(学費全額、居住費、教科書等代、生活費)

士官への昇格に必要な大学高等教育費の支援プログラムとしては以下のようなものがある。いずれも予備役としての通常の任務を果たしながら大学に通うことができる奨学金で、任期契約は必要だが、それを満たせば返済は不要。

大学生の中では在学中に士官養成プログラムである ROTC 等に参加すれば、公立大学の学費の全額負担および生活費も一部負担してくれるため、家族からの援助なく自力で大学を卒業するための一つのオプションとして確立されている。

どれも基本卒業後の任務契約または予備役任務中通うために必要な学費・生活費等を支援してくれる奨学金プログラムで、軍が特に必要としている技能の場合には、かなり優遇された支援もある。

- ・各種大学奨学金：任務契約後(学費全額、居住費、教科書代、生活費 等)
- ・ ROTC 予備役将校訓練団奨学金 (RESERVE OFFICERS' TRAINING CORPS (ROTC) SCHOLARSHIPS)
- ・ 米国陸軍予備役ミニッツマン奨学金 (U. S. ARMY RESERVE MINUTEMAN SCHOLARSHIP)
- ・ GUARANTEED RESERVE FORCES DUTY (GRFD) SCHOLARSHIP
- ・ ARMY RESERVE MONTGOMERY GI BILL (MGIB), "KICKER"

Kicker プログラムでは、基本的なモンゴメリー-GI ビルの特典と併せて支払われ MGIB に加え、最大 36 か月まで月 \$350 (約 4 万円) 受給することができる (職種、階級等条件あり)。

(2) 陸軍州兵 Army National Guard

ア 殆どの州では、州立大学の学費全額負担。ROTC プログラムあり。

イ 入隊ボーナス(州により異なる)

ニューヨーク陸軍州兵の場合は、2021 年 7 月 1 日以降、再入隊ボーナスを廃止した。

NY 州の場合の州特定職種入隊ボーナス適用軍事職業専門分野 (MOS : Military Occupational Specialty)

11B, 11C, 12N, 13B, 13F, 25Q, 25U, 68W, 88M, 92F

2 海軍

(1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve

全軍共通のみ

(2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

[将校昇進プログラム]

- ・ Reserve Enlisted Commissioning Program (RECP)

予備役海兵任命プログラムは Selected Marine Corps Reserve (SMCR) 対象。参加には士官候補生学校に応募 (Officer Candidates School)。

- ・ Meritorious Commissioning Program

勲功任命プログラムは、海兵隊及び海兵隊登録予備役が対象。管轄指揮官による推薦が必要。

- ・ Warrant Officer Reserve Program

准尉予備役プログラムは1年以上 SMCR/IMA に属している三等軍曹以上の階級海兵が対象。

(3) 沿岸警備隊 Coast Guard

[特別訓練]

- ・現職分野を超えた特別分野での訓練を受けることができる。

3 空軍

(1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

ア 学生ローン返済。

連邦空軍予備役士官の学生ローンを対象職種関連である場合に返済。

イ 入隊ボーナス

空軍予備役で特に需要の高い分野の士官には、最大 20,000 ドル(約 230 万円)の入隊ボーナスの対象になる場合がある(契約期間 6 年間に渡り支払われる)。

ウ 大学単位取得

空軍での職業分野訓練の殆どが、空軍コミュニティーカレッジの大学単位に加算される。

エ 実地訓練

全ての職種/階級において、実地訓練と生涯訓練を奨励している。例えば航空機整備工の職業訓練は、殆ど費用がかからず特別な認定書や免許の取得(FAA 免許等)につながる。

(2) 空軍州兵 Air National Guard

※ 州兵の州に特化した処遇は州による。

ア 殆どの州で州立大学の学費全額負担の ROTC プログラムあり。

イ 入隊ボーナス(州の需要により異なる)

ウ 6 年契約、最低 AFQT 点数 31、認定 MTOE/Medical TDA 部隊、階級 E4 以下、需要トップ 10 の MOS 分野で 12,500 ドル(約 144 万円)。

エ その他 3～6 年契約、高需要 MOS で 5,000～20,000 ドル(約 58～230 万円)。

第2章 予備役将官等

第1節 予備役将官の有無

いずれの軍種でも予備役将官は存在する。以下、各軍種/軍役での統計値で見る予備役将官の最高階級を示す。

1 陸軍

- (1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve : 少将(MAJOR GENERAL : MG)
- (2) 陸軍州兵 Army National Guard : 大将(GENERAL : GEN)

2 海軍

- (1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve : 中将(LT GENERAL-VICE ADMIRAL)
- (2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve : 中将(LT GENERAL-VICE ADMIRAL)
- (3) 沿岸警備隊 Coast Guard : 少将(REAR ADMIRAL(U))

3 空軍

- (1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve : 少将(MAJOR GENERAL (MG))
- (2) 空軍州兵 Air National Guard : 大将(GENERAL : GEN)

第2節 軍種別の予備役の階級別役割、人数

1 陸軍予備役の階級別役割(連邦陸軍予備役、陸軍州兵共通)

(1) 将官

大将: GENERAL (GEN)

大将は平時における陸軍の最高位階級で、通常は30年以上の勤務を経て任官される。大将は担当地域で展開される全ての作戦に責任を持つ。

中将: LIEUTENANT GENERAL (LTG)

中将は通常軍団級部隊(20,000~45,000名程度)の部隊長を務める。

少将: MAJOR GENERAL (MG)

少将は師団級部隊(10,000~15,000名程度)の部隊長を務める。

准将: BRIGADIER GENERAL (BG)

准将は副師団長を務める。任務の人員計画や連携を監督する。

(2) 佐官

大佐: COLONEL (COL)

大佐は通常最上級曹長の補佐を受けつつ旅団級部隊(3,000~5,000人程度)の指揮官を務めることが多いほか、師団級部隊の参謀長を務めることもある。

中佐: LIEUTENANT COLONEL (LTC)

中佐は通常上級曹長や先任曹長の補佐を受けつつ大隊級部隊(300~1,000人程度)の指揮官を務めることが多いほか、旅団や任務部隊(タスクフォース)における次席指揮官を務めることもある。

少佐: MAJOR (MAJ)

少佐は旅団や任務部隊(タスクフォース)において主席将官を務め、人員、物流や作戦任務を指揮・管理する。

(3) 尉官

大尉 CAPTAIN (CPT)

大尉は中隊級部隊(62～190 人)の指揮官を務める。また、学校や訓練施設の教官、大隊級部隊の将官を務める事もある。

中尉 FIRST LIEUTENANT (1LT)

少尉は 18～24 ヶ月程度の勤務を経て中尉に進級する。中尉は特殊装備小隊や間接射撃指揮所を率いる。

少尉 SECOND LIEUTENANT (2LT)

少尉は最下級の士官で、通常はこの階級から士官としての勤務が始まる。2 個以上の分隊から成る小隊級部隊(16～44 人程度)の指揮官を務める。

(4) 准士官

上級准尉 5: CHIEF WARRANT OFFICER 5 (CW5)

上級准尉 5 は主に技術戦闘専門技能者。旅団、師団、軍団、軍団の上の小部隊など主要な指令作戦を支援する。各コマンドないで准尉の指揮役職と役割を担う。

上級准尉 4: CHIEF WARRANT OFFICER 4 (CW4)

上級准尉 4 は上級レベルの技術戦闘専門技能者。旅団、師団、軍団、軍団の上の小部隊など主要な指令作戦を支援する

上級准尉 3: CHIEF WARRANT OFFICER 3 (CW3)

上級准尉 3 は高レベルの技術戦闘専門技能者。旅団を通してチームとして、また派遣され、主に作戦を支援する。

上級准尉 2: CHIEF WARRANT OFFICER 2 (CW2)

上級准尉 2 は中レベルの技術戦闘専門技能者。旅団を通してチームとして、また派遣され、様々なレベルから作戦を支援する。

上級准尉 1: CHIEF WARRANT OFFICER 1 (CW1)

上級准尉 1 は技術戦闘専門技能者。基本レベル階級として、旅団を通してチームとして、また派遣され、作戦を支援する。陸軍長官により任じられる。

(5) 下士官

上級曹長: SERGEANT MAJOR OF THE ARMY / COMMAND SERGEANT MAJOR / SERGEANT MAJOR

上級曹長は大隊級部隊で将校に対する助言を行い、旅団級部隊においては、方針・標準を執行し、指揮官および士官に対する助言等を行う。下士官・兵の能力、訓練、外見や行動に関わり指揮官に助言をする場合もある。陸軍最先任上級曹長は、陸軍の中で一名だけ補職され、軍曹の模範たる者として全ての下士官を監督する責任を負うと共に、陸軍参謀総長に対する助言も行う。

曹長/先任曹長: FIRST SERGEANT / MASTER SERGEANT

先任曹長は中隊級部隊(62～190 人)における管理職を務めるほか、最先任下士官として他の下士官を指導すると共に将校への助言を行う。曹長は大隊またはそれ以上の部隊で主席下士官を務める。

一等軍曹: SERGEANT FIRST CLASS

一等軍曹は小隊長の補佐を務め、15 年から 18 年程度の勤務を経

て任官されることが多い。

二等軍曹： STAFF SERGEANT

二等軍曹も分隊(9～10人)を指揮するが、1人以上の三等軍曹が補佐に付くことが多い。兵士の可能性を引き出し、能力の向上、維持、適用を担う。

三等軍曹： SERGEANT

三等軍曹は射撃班(5人程度)の指揮を執ることが多い。兵士の模範となり、日常活動を監視する役目を担う。

伍長／特技兵： CORPORAL / SPECIALIST

伍長は最下級の下士官(NCO: Noncommissioned Officer)。最小規模の班等の部隊指揮を行うほか、より上位の軍曹と共に兵卒の各個訓練を担当する。特技兵は下級兵卒の指揮をとる。2年以上勤務した上で特定技能の訓練課程を修了した者。4年制学位を持つ入隊者は基本戦闘訓練後、特技兵となる。

(6) 兵卒

上等兵： PRIVATE FIRST CLASS、一等兵： PRIVATE

上官の要請により1年以内に上等兵に進級する。軍を支える階級であり、命令に応じて任務を遂行することが役目。

二等兵： PRIVATE

兵卒は基礎戦闘訓練(BCT: Basic Combat Training)に参加し、軍における所属部隊の任務の遂行に寄与する。

2 海軍予備役の階級別役割

(1) 将官

大将 ADMIRAL

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

Admiral: 大将は四つ星、海軍の最高階級将官。地域コマンド、総合コマンドの司令官、統合参謀本部議長、アメリカ海軍作戦部長を務めることができる。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

GENERAL: 大将は四つ星、最高階級将官。大統領により推薦され、上院議会により承認される。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Admiral: 大将は四つ星、USCGの最高階級将官。41,000以上の正規人員を統括する大きな責任をもつ。沿岸警備隊の長官であり、米国大統領に直接報告する。

中将 VICE ADMIRAL

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

中将は三つ星階級。VADMは艦隊を指令し、地域コマンドの副司令官を務めることができる。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

LIEUTENANT GENERAL: 中将は三つ星階級。大統領により推薦され、上院議会により承認される。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Vice Admiral: 中将は三つ星階級。沿岸警備隊の副長官、VADMは作戦地域の任務を直接監督する。任期は3年から4年。

少将／上級少将 REAR ADMIRAL (U)

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

Rear Admiral Upper Half：上級少将は二つ星。RADMは両用即応群、Carrier-Cruiser 軍、母艦、遠征打撃群。大規模コマンドの副司令官を務めることもある。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

MAJOR GENERAL：上級少将は二つ星。大統領により推薦され、上院議会により承認される。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

The Rear Admiral Upper Half：上級少将は二つ星。下級少将と同じく RADMは沿岸沖の大きな艦隊を監督する。大きな権限と経験を持ち、緊急時には、関連セクターと対応を速やかに連携する。

准将／下級少将 REAR ADMIRAL (L)

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

A Rear Admiral Lower Half：下級少将は一つ星で将校の一番低い階級。海上では両用即応群、Carrier-Cruiser 軍、母艦、遠征打撃群等の大規模コマンドの司令官代理を務めることもある。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

BRIGADIER GENERAL：下級少将は一つ星。大統領により推薦され、上院議会により承認される。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Rear Admiral Lower Half：下級少将は一つ星。他の軍種の准将と同等。RDMLは沿岸の数セクターや小規模の艦隊の地区司令官を務める。下級少将と同じく RADMは沿岸沖の大きな艦隊を監督する。再任命されない場合には任期は通常5年。

(2) 佐官

大佐 CAPTAIN

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

CAPT：大佐は主要コマンドの指揮官を務める。航空母艦、強襲揚陸艦、巡洋艦、駆逐艦戦隊、弾道ミサイル潜水艦、空母航空団、潜水艦隊、SEAL 軍、地上施設のコマンドを含む。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

COLONEL：大佐は、連隊長、旅団副艦長、海軍、旅団、師団スタッフメンバーの司令官を務める。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Captain：大佐は高級将官階級であり、小規模な沿岸警備隊の任務では大きな権限を持っている。大佐は船舶、航空機や他の上級職への指令を担う。この役職以上への昇級には特筆した指導歴が求められ、通常任務では難しい。

中佐 COMMANDER

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

Commander：中佐は5番目の高級将官階級。小型快速船、駆逐艦、攻撃型潜水艦、輸送艦艇、航空戦隊、SEAL チーム、地上施設の指令をすることがある。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

LIEUTENANT COLONEL：中佐は主要決定権を持ち、大隊の司令官を務めることがある。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Commander：中佐は5番目の高級将官階級、セクター司令官に報告する。CDRは部隊や小型船舶、小型船を指導し、捜索救助、警察、海域の国土保安のような戦略的任務を担う。

少佐 LT COMMANDER

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

A Navy lieutenant commander：海軍少佐は4番目の下級将校、船舶・航空機戦隊、潜水艦の部門長や副艦長を務める。SEALチームの少佐は副隊長の役目を担う。掃海艇や警備艇の司令官に任命されることもある。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

MAJOR：少佐は大隊の副司令官、weapons company 司令官やregimental・旅団 staff membersの役目を果たす。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

The Lieutenant Commander：少佐は4番目の将校階級、海事法や警察の両方における多重任務を担う。LCDRは小型船舶の司令官また特定分野の専門家である。技術的・戦略技術を磨き、教育課程を修了することにより昇級することができるようになる。

(3) 尉官

大尉 LIEUTENANT

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

Lieutenant：大尉は3段階目の将校。海軍大尉は師団士官で、戦略的監視チーム、事故時や担当師団の他の士官を訓練したりする。大尉は小型船舶、航空機戦隊、潜水艦、他の船舶の指揮をする場合がある。部門長の役目を担う場合もある。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

CAPTAIN：大尉は海兵隊群全てを指令し、中隊司令官、戦術的戦略を初級士官と上級兵曹の補佐により実行する。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Lieutenant：大尉は最高士官階級であり、任命役職における能力や等級技術を磨く。初等兵曹(E-1～E-3)や兵曹を助言し、保守・維持・管理業務を行う。

中尉 LIEUTENANT(JG)

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

Lieutenant, Junior Grade：中尉は下から2番目の将校、海兵の少尉と大尉の間に位置する。特殊分野での訓練中、また艦隊で師団士官として勤務する場合もある。2年間、役職勤務することによりこの階級に昇級できる。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

FIRST LIEUTENANT：中尉は少尉と似た指揮業務を行うが、昇級に伴い即時により大きな責任を任される。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Lieutenant Junior Grade：中尉は下から2番目の将校で少尉の上の階級。口語では Jay Gee と呼ばれることも多い。LTJG

の役目は搭乗船の専門分野のビレット師団士官 (billeted division officer) や、USCG のもつ多角的任務のために他の役目を合わせて受け持つことも多い。専門技術分野に関わる公式な教育課程を完了することにより、さらに上級職に昇級できる。

少尉 ENSIGN

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

Ensign : 少尉は最初の将校階級。アメリカ海軍兵学校、海軍予備役将校訓練課程 (NROTC)、また将校、幹部候補生学校 (OCS) の卒業後任命される時に与えられる階級。ほとんどの少尉は学校で仕事を学ぶ。艦隊の師団士官として任務に就く場合もある。昇級には師団を統制できる能力を証明する必要がある。数週間から 2 年間かかる。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

SECOND LIEUTENANT : 少尉は小隊や中隊を統制し、上級将校に指導や目的の指示を仰ぐ。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Ensign : 少尉は初級将校である。任命から 3 年間は正式任務期間である。少尉は師団で船舶に任命を受け、通常上等兵曹や水兵のグループを統制する。

(4) 准士官

上級兵曹長 5~2 CHIEF WARRANT OFFICER W-5~W-2

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

Chief Warrant Officer : 上級兵曹長 3~5、上級兵曹長級の最初の将校階級。W02 は 12 年間の正規任務経験と 3 年階級で勤務していることが条件となる。兵の階級が W0 の給料区分を定める。通常 E8 は W02 に任命される。E9 は W03 に任命される。承認後、将校訓練課程に参加し、新しい役割へ滑らかに移行できるようにする。昇級は空席と階級年功と経験年数に寄る。

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

Warrant officer Marines : 上級兵曹長 3~5 海兵隊は I レベル技術専門家将校で、リーダーシップ、訓練、海兵隊 MOS 専門分野に豊富な経験を持つ。この階級への昇級は、海軍長官が軍曹や二等軍曹への任命証書を承諾し、上級兵曹に任命する。これらの海兵は W02 の階級から将校となる。

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Chief Warrant Officer 5 : 上級兵曹長 5 は任命者なし。
CW03 と CW04 : 上級兵曹長 3 と 4 は経験年数により昇任。CW0 は上級兵曹長から少尉プログラムへの昇任試験を受ける資格がある。CW0 階級は O-3E 階級に相当。
Chief Warrant Officers 2 : 上級兵曹長 3 への任命は NCO (E-6 ~ E-9) としての任命には 8 年間の任務と委員会での選考が必要。任命後 CW02 は 21 の内 1 つの分野を専門とする (ダイビング専門、情報システム専門、人事行政管理、兵器等)

兵曹長 1 WARRANT OFFICER W-1

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

情報なし

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

情報なし

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

Chief Warrant Officer (WO-1) : この階級は任命証書を通してのみ任命される。任命後は6年間 WO1 の階級で勤務することが契約に盛り込まれる。海軍における指導者としての経験、海軍の伝統と慣行に通じている場合に兵曹長の階級に応募する資格がある。

(5) 下士官

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

情報なし

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

情報なし

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

情報なし

(6) 兵卒

〈連邦海軍予備役 Navy Reserve〉

情報なし

〈海兵隊予備役 Marine Corps Reserve〉

情報なし

〈沿岸警備隊 Coast Guard〉

情報なし

3 空軍予備役の階級別役割(連邦空軍予備役、空軍州兵共通)

(1) 将官

大将: GENERAL

四つ星階級、国防総省で最高将校階級を持ち、重要な責任分野での司令官を務める。

中将: LIEUTENANT GENERAL

中将は空軍将官から大統領により指名される。

少将: MAJOR GENERAL

二つ星の空軍階級、少将への昇級は准将の場合とほぼ同じ。

准将: BRIGADIER GENERAL

准将の昇任は、将官の選任委員会が候補者リストに基づき選考し、大統領がその候補者一覧から指名する。准将は軍務30年間または本階級で5年勤務した後に退職しなければならない。

(2) 佐官

大佐: COLONEL

空軍の大佐は多くの役目を担う。航空団の要素を司令したり、異なる空軍 Staff Agency の長官の役目を担う。

中佐: LIEUTENANT COLONEL

中佐は、医療や支援群、大隊の指揮や戦略群の任務を統轄する。

少佐: MAJOR

下級佐官である空軍の少佐は旅団規模の主な Staff officer である。

(3) 尉官

大尉: CAPTAIN

大尉は通常航 1 空任務を割り当てられ、その責任を持つ。そのため飛行指揮官と呼ばれる。

中尉: FIRST LIEUTENANT

中尉は少尉とほぼ同等の責任を持つが、給与が高く責任ある任務が多い。

少尉: SECOND LIEUTENANT

少尉の役職は士官任命の際に飛ばされることもある。

(4) 准士官

情報なし

(5) 下士官

情報なし

(6) 兵卒

情報なし

補足

海軍・空軍の場合は、陸軍とは異なり、それぞれの階級がどの役割を果たすか、というよりも、割り当てられた職務の中での適性・訓練・経験・知識・技術・責任のレベルを分類されるため、下士官や兵卒等の階級別の役割は公表されていない。

具体的に例を挙げると、研修生・作業員では、海軍は E1 から E3、空軍は E1 から E4、技術者・作業管理者・指導官として任務を実際に行ったり、管理能力(システムの維持・修理・運転)に長けている者は、海軍が E4 から E6、空軍は E5 と E6 となる。

E-7 は全ての技術的管理能力、指示能力、下位の兵士の訓練を行うことができる者、E8 は専任技術管理者で、兵卒人事からシステム・副システムの維持・修理・運転を行うことができる者や技術的管理能力・指示・下位の兵の訓練に関わる全ての仕事を行うことができる者。

E9 は経験・業績・技術的な知識に裏付けられた司令部からの信頼を得ており、人事・行政・管理業務への責任も担い、専門分野においては海軍・空軍システム、兵卒階級に渡る方針の策定にも携わる。

4 陸軍予備役の階級別人数(2021年1~10月の平均)

	連邦陸軍予備役 Army Reserve	陸軍州兵 Army National Guard
OF-10 大将	0	1
OF-9 中将	0	1
OF-8 少将	33	84
OF-7 准将	85	179
OF-6 大佐	1,825	1,323
OF-5 中佐	5,455	3,672
OF-4 少佐	10,132	7,195
OF-3 大尉	10,754	10,962
OF-2 中尉	5,176	7,543
OF-1 少尉	2,468	6,324
W-5 上級准尉 5	106	439
W-4 上級准尉 4	635	1,628
W-3 上級准尉 3	1,129	2,701
W-2 上級准尉 2	1,121	2,541
W-1 准尉 1	580	1,559
士官階級不明	52	0
E-9 上級曹長	1,352	2,018
E-8 曹長/先任曹長	4,830	6,940
E-7 一等軍曹	14,253	19,980
E-6 二等軍曹	20,908	33,938
E-5 三等軍曹	26,250	55,661
E-4 伍長	50,543	105,411
E-3 上等兵	15,929	40,571
E-2 一等兵	5,845	15,781
E-1 二等兵	6,674	10,031
階級不明	0	0
総数	186,136	336,483

5 海軍予備役の階級別人数(2021年1~10月の平均 ※ 沿岸警備隊は9月まで)

	連邦海軍予備役 Navy Reserve	海兵隊予備役 Marine Corps Reserve	沿岸警備隊 Coast Guard
O-10 大将	0	0	0
O-9 中将	1	1	0
O-8 上級少将	14	5	1
O-7 下級少将	33	7	1
O-6 大佐	1,228	266	40
O-5 中佐	3,341	711	145
O-4 少佐	5,212	1,784	271
O-3 大尉	3,207	916	284
O-2 中尉	566	270	97
O-1 少尉	501	248	73
W-5 上級兵曹長 5	7	19	0
W-4 上級兵曹長 4	26	47	31
W-3 上級兵曹長 3	34	61	24
W-2 上級兵曹長 2	55	75	52
W-1 兵曹長 1	0	53	0
士官階級不明	0	0	0
E-9 最上級上等兵曹	372	139	62
E-8 上級上等兵曹	1,039	490	124
E-7 上等兵曹	3,876	1,100	704
E-6 一等兵曹	12,380	1,870	1,619
E-5 二等兵曹	15,040	4,128	1,579
E-4 三等兵曹	6,202	6,246	887
E-3 上等水兵	3,103	13,161	227
E-2 一等水兵	896	2,388	5
E-1 二等水兵	682	1,572	0
階級不明	1	0	0
総数	57,815	35,557	6,228

6 空軍予備役の階級別人数

(2021年1～8月の平均) (2021年1～12月の平均)

	連邦空軍予備役 Air Force Reserve	空軍州兵 Air National Guard
0-10 大将	0	0
0-9 中将	0	4
0-8 少将	23	49
0-7 准将	57	142
0-6 大佐	1,018	1,078
0-5 中佐	4,471	4,392
0-4 少佐	4,994	4,270
0-3 大尉	2,989	3,715
0-2 中尉	652	1,318
0-1 少尉	638	1,317
W-5 上級兵曹長 5	0	0
W-4 上級兵曹長 4	0	0
W-3 上級兵曹長 3	0	0
W-2 上級兵曹長 2	0	0
W-1 兵曹長 1	0	0
士官階級不明	0	0
E-9 最先任上級曹長	1,072	2,084
E-8 前任／上級兵曹	2,985	4,665
E-7 一等軍曹／曹長	9,001	15,320
E-6 二等軍曹	13,209	20,618
E-5 三等軍曹	11,359	20,420
E-4 兵長	12,076	12,425
E-3 上等兵	3,814	12,745
E-2 一等兵	720	1,145
E-1 二等兵	1,163	2,070
階級不明	0	0
総数	70,240	107,778

第3節 招集された場合の運用例

1 陸軍

(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve

ア 任地/期間：クウェート/1年間

連邦陸軍予備役公式サイト広報ニュース 2016年8月8日

イ 任務：法律支援任務(陸軍予備役法律士官 legal officer)

Jessica Herdrich 陸軍予備役大尉(法廷弁護士)の任務は信用度格付けや親権、民事裁判所制度における係争中の法的問題に関わる兵士を法廷で支援すること。

ア 任地/期間：サリナス(プエルトリコ)

連邦陸軍予備役公式サイト広報ニュース 2022年3月8日

イ 任務：陸軍予備役司令官が第166地域支援グループの訓練活動を訪問

陸軍予備役司令官であり、米陸軍総司令部長であるジョディ J. ダニエルズ中将が、キャンプサンティアゴ合同操縦訓練サイトで第166地域支援グループ、第1ミッション支援司令部の訓練活動を訪問。

(2) 陸軍州兵 Army National Guard

ア 任地/期間：アフガニスタン/1年間

陸軍州兵広報ニュース、2010年3月4日

イ 任務：航空機乗組員が地上部隊の安全を守るための任務

第214航空連隊第3大隊Bの兵士がガーナ州フォートベニングに再展開され12ヶ月間アフガニスタンに配備。

陸軍州兵最初の ODIN 空中情報・監視・偵察担当中隊(ISR)。

中隊のC-12、C-26双発航空機で戦略的貨物・乗客運搬に秀で、民間航空機を改造した特別な電気任務機器を搭載させた双発航空機を使用して、即席爆発装置(IED)の検出を行った。また他の特別ISR航空機、無人航空機、通信ネットワークを利用して、戦場における路側帯の脅威に関する情報をほぼリアルタイムで地上指揮官とその部隊に通達。IED攻撃を防ぐだけでなく、敵の戦闘員の追跡、拘束、殺害任務の成功に寄与した。

2 海軍

(1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve

ア 任地：北東アフリカ/ジブチ Camp Lemonnier, Djibouti (CLDJ)

連邦海軍予備役ニュース 2021年10月14日

イ 任務：基地のモバイルレーザーショットシステムの改善

Andrea Navar 1等警衛兵(海軍予備役/サンディエゴ)は、基地のモバイルレーザーショットシステムの改善を率先して監督・実施し、最終的には銃器訓練シミュレーター(FATS)システムへとアップグレードさせた。彼女は銃器訓練シミュレーターと小火器射撃の教官を務める。これらのシステムは、訓練生が室内で射撃場環境を体験できる仮想の銃器訓練環境を提供する。これにより、数え切れないほどの工数、弾薬、そしてジブチの猛暑によるストレスが軽減された。

(2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

ア 任地：バージニア州

海兵隊予備役プレスリリース 2021年12月15日

イ 任務：Operation Allies Welcome アリーズウェルカム作戦の支援
Operation Allies Welcome を支援するため、1,000人の海兵隊予備役を動員。

[Operation Allies Welcome]

アフガニスタン避難民に対し、輸送、仮設住宅、診療検査、一般支援等の支援を可能な限り迅速にかつ適切に提供するもの。

(3) 沿岸警備隊 Coast Guard

ア 任地：日本/沖縄(2021年8月)

U.S. Naval Institute NEWS 2021年9月3日

イ 任務：

Michael McAllister 中将/太平洋艦隊司令官、沿岸警備隊司令官 USCGC Munro (WMSL-755)は、米国第7艦隊下で日本の海上自衛隊、フィリピン沿岸警備隊、フィリピン漁業水産資源局と共同監視、排他的経済水域の保安活動等の訓練活動を実施。

3 空軍

(1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

ア 任地：アラブ首長国連邦の第104アル・ダフラ空軍基地(6か月)

Air Force Reserve Command NEWS 2020年10月26日

イ 任務：米空軍中央司令部の任務の支援

正規任務第388戦闘航空団・空軍予備役第419戦闘航空団が動員された。

第388部隊と第419部隊は、空軍初の戦闘能力を持つF-35A部隊で、現役部隊と予備役の両方の強みを生かしたトータルフォースパートナーシップで78機の飛行と整備を行っている。

(2) 空軍州兵 Air National Guard

ア 任地：アラブ首長国連邦のアル・ダフラ空軍基地 第380空中給油団

Air National Guard NEWS 2021年12月28日発行

イ 任務：アル・ダフラ空軍基地のミッションを支援

アイオワ航空州兵の市民航空兵十数人が中東に配備され、アラブ首長国連邦のアル・ダフラ基地の第380空中給油団を支援。

第4節 招集されていない場合の勤務形態

0 全軍共通事項

The Uniformed Services Employment and Reemployment Rights Act: USERRA(軍人雇用・再雇用権法：1994年)

<民間企業で就職した場合の再雇用保障等>

雇用あっせん等のプログラムがある予備役軍もあるが、全ての軍人の雇用(陸軍、海軍、海兵隊、空軍、沿岸警備隊、並びに国家警備隊及び公衆衛生特命部隊の正規兵及び予備役)に関し The Uniformed Services Employment and Reemployment Rights Act: USERRA(軍人雇用・再雇用権法：1994年)が適用され、雇用が保護されている。

USERRA は、平時及び有事の招集時、志願時を問わず実質的に全ての一般雇用主に適用される。

雇用者は従業員の軍務への志願、訓練期間また正規軍現役勤務の際に、雇用、再雇用や勤務継続していた場合に本来なら得られたはずの雇用福祉手当等を保障する必要がある。従業員が希望する場合には、勤務先を通じた健康保険を兵役期間中最大 24 カ月まで継続できるように保証している。

兵役期間の従業員は規定の手順に沿って雇用者に通知した場合、休職中と見なされ、兵役完了後に規定期間内に雇用者に通知することで、同じ権利・条件・役職に復帰できることを保障している。

1 陸軍の就業支援など

(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve

ア 米軍内での雇用オプション

陸軍予備役でのキャリアと両立させることができる米軍内の仕事(警察、医療、施設、情報技術などの分野)を紹介。

イ 雇用主パートナープログラム (EMPLOYER PARTNERSHIP PROGRAM)

予備役軍人の雇用を望む民間企業数千社とのパートナーシップによる就職支援プログラム

ウ U.S. ARMY PARTNERSHIP FOR YOUTH SUCCESS (PaYS) PROGRAM

非常勤で兵役に着きながら将来の職業準備をする支援プログラム (PaYS)。陸軍予備役の専門分野 (MOS) に沿ったパートナー民間企業を紹介。事前に選択された PaYS パートナーとの面接の機会を保障。

エ 職業免許・認定書取得

陸軍予備役の職務の多くは、職業免許や全国共通の認定書の取得につながる。これらの免許・認定書は民間企業での就職に有利になる場合がある。

(2) 陸軍州兵 Army National Guard

参考: NY州内のトップ 10 雇用主

JP Morgan Chase & Co., Citigroup Inc., AMB Industries, Pfizer, Carl Icahn, Philip Morris International, Omnicom Groups, Price Waterhouse Coopers (PwC), Alcoa, Marsh & McLennan

2 海軍の就業支援など

(1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve

・NERE (Navy Employer Recognition Event)

NERE は、社内で海軍予備役兵に優れたサポートをしている民間企業を表彰。

(2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

情報なし

(3) 沿岸警備隊 Coast Guard

情報なし

3 空軍の就業支援など

(1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

空軍基地や施設での求人案内

(2) 空軍州兵 Air National Guard

職業訓練支援

第3章 招集

第1節 予備役の動員名称、命令権者、動員目的、規模、招集される対象、期間など

◎ 非予備役正規支援(FTS: Full-time Support)の同行派遣(全軍共通)

米国法 10、5、32 条に基づき、予備役招集の際には殆どの場合、予備役部隊に「正規支援」職員(文官・軍人)が同行し、戦略任命及び派遣準備の実行に必要な日常作業の組織化、管理、指示、採用、訓練を管轄し、物資・機器・航空機の管理、必要な他の作業を担当する。

FTS 職員は「正規州兵/予備役対応」、「軍技術者」、「正規構成部隊」、「文官」の4区分に大きく分けられる。

正規州兵/予備役対応 Active Guard and Reserve:AGR

予備役部隊の組織化、管理、募集、指導、訓練等を担当し、連続 180 日以上、任務に就く。また、特定の作戦支援任務や大量破壊兵器に対する防衛に関する任務を遂行したり、国防総省請負業者、国防総省文官、および外国軍要員を訓練する場合もある。フルタイムで勤務しているとはいえ、予備役部隊の一員とみなされ、通常、配属された予備役部隊の週末訓練と年次訓練に参加することが義務づけられている。

軍技術者 Military technicians:MTs

予備役部隊を支援する連邦の文官職員で、その一部は、特定の運用サポート業務に携わり、正規構成部隊の現役要員や国防総省請負業者、国防総省文官、および外国軍要員に訓練の環境を提供する場合もある。通常の文官職員とは異なり、雇用の条件として選抜予備役のメンバーシップを保持する必要がある、指定された週末の訓練と予備役部隊との年次訓練に参加しなければならない。予備役部隊の他の隊員と同様の任務を命じられることもある。海軍予備役、海兵隊予備役、沿岸警備隊予備役には軍技術者は存在しない。

正規構成部隊 Active Component:AC

予備役部隊に助言、連絡、管理、運営、訓練、支援を行うために、それぞれの軍によって予備役組織や部隊に割り当てられる現役の軍人で、形式的には予備役部隊ではなく、現役部員であるが、配属された予備役部隊が動員された場合、その予備役と共に派兵される。

文官

連邦政府の公務員で、予備役の管理、訓練、維持、募集の支援を行う。雇用の条件として予備役のメンバーシップを保持する必要はないが、中には自発的に登録する者もいる。

予備役のメンバーでない限り、強制的に現役勤務を命じられることはない。

予備役構成部隊(RC)と FTS 職員で編成して派遣することにより、各予備役部隊が割り当てられた任務を果たすための計画性と安定性を確保することを目的としている。

参考：予備役構成部隊に割り当てられた FTS 職員数(2020 年 9 月の実値)

予備役構成部隊	正規州兵・予備役	軍技術者	正規構成要素(AC)	文官	合計
連邦陸軍予備役	30,902	21,946	973	4,701	58,522
陸軍州兵	16,615	6,492	64	4,469	27,640
連邦海軍	10,118	0	1,199	926	12,243
海兵隊予備役	2,363	0	3,779	220	6,362
沿岸警備隊	NA	NA	NA	NA	NA
連邦空軍予備役	22,025	14,806	36	3,741	40,608
空軍州兵	4,632	7,363	351	3,960	16,306

- ▶ 『予備役の動員名称、命令権者、動員目的、規模、招集される対象、期間など』については、別表を参照

第 2 節 最近の招集事例

1 陸軍

(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve

ア 即時対応が求められる自然災害救援活動(国内)

緊急事態において、上位司令部から承認を得る時間がない場合は、人命を救い、人的被害を防ぎ、大きな財産損失を軽減するために即応行動を起こす権限を現地司令官に与える「国防総省指令 3025.18」の即時対応権限(the Immediate Response Authority:IRA)に基づき実施される。

出動命令に応じて災害復旧活動に参加し、救助困難な地域に必需品(水、食料、清掃器具)を届け、民間人や職員の移動、住民の救助などに対応する。

出動自然災害例：

Hurricane Sandy：2012 年、Hurricane Matthew：2016 年、Hurricane Harvey：2017 年、Hurricane Maria：2017 年、Hurricane Florence：2018 年、Hurricane Michael：2018 年、Super Typhoon Yutu：2018 年、Hurricane Dorian：2019 年、Puerto Rico Earthquake：2020 年

イ 任務部隊(タスクフォース)Timberwolf が 10 か月、南西アジア、中東に派遣(Army Reserve NEWS 2021 年 10 月 18 日)

Theater Engineer Brigade (TEB)の隊員はクウェート、サウジアラビア、ヨルダン、カタール等に派遣された。TEBの任務には、任務司令、戦闘支援、技術的・戦略的指導が含まれている。

(2) 陸軍州兵 Army National Guard

ア NY 州兵隊員が高齢者福祉施設を支援：1 ヶ月

NY 州兵隊医療、医療技術者 18 人は高齢者福祉施設の支援に動員され、逼迫した医療施設の収容能力の向上に寄与した。

医療分野ですでに勤務しているこれらの州兵を動員し、特に必要度が高い施設に派遣した。

- イ インディアナ州第38歩兵師団600人以上を中東に派遣
第38歩兵師団は、2019年5月に9か月間、タスクフォーススバルタンを支援するために600人以上の兵士を中東に派遣。主な任務は、防衛関係を強化し、パートナーの能力を構築しながら、中東で米軍のリーダーシップを確立すること。

2 海軍

(1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve

海軍予備役部隊がウクライナの黒海でSea Breeze演習実施
(2021年ウクライナ/オデッサ)

海事パートナーシッププログラム分遣隊513/Maritime Partnership Program Detachment 513は、多国籍海上演習Exercise Sea Breeze 2021を黒海やウクライナで実施。MPP Det 513は、遠征予備役部隊としてイリノイ州Navy Operations Support Center (NOSC) Great Lakesに所属しており、同盟国や協力国の特殊戦闘訓練を支援する能力を保持している。6大陸の32か国を代表し、船舶32隻、航空機40機、18の特殊部隊と潜水チームが参加し、地域の海上保全を強化した。250万リットルの燃料、食事30,000食の運搬の手配、ウクライナ内の14か所に配置された32か国の部隊にインフラ等の後方支援を担う任務を果たした。(Navy Reserve NEWS 2021年7月20日)

(2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

2018年に派遣された海兵隊予備役は全2,135人、派遣先は41か国。2019年は2,624人、45か国。2020年には1,044人に低下。2021年はさらに966人に低下し、「28の陣形(“28 formations”)」に派遣された。(Marine Corps Times. 2021年5月21日)

(3) 沿岸警備隊 Coast Guard

最近の予備役動員数の例は

- ・西半球における国防省の対麻薬作戦強化：the Enhanced Department of Defense Counternarcotic Operation in the Western Hemisphere (2020).
- ・2001.9.11後にテロリスト攻撃に関わり軍作戦に動員された人数は、2001年～現在で、予備役1,031,500人。
⇒COVID-19対策：2020年～2021年8月24日までで、予備役10,027人。(米国法32条に基づいて動員された州兵数は含まない。)

3 空軍

(1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

Operations Freedom Sentinel and Inherent Resolve

空軍予備役第403飛行隊に所属する予備役市民航空兵とC-130J航空機は、自由の番人作戦と生来の決意作戦(Operations Freedom Sentinel and Inherent Resolve)の支援を完了し、南西アジアから帰任。第403航空団NEWS 2021年2月13日

(2) 空軍州兵 Air National Guard

カリフォルニア州兵第 40 戦闘航空旅団は、5 月に中東で米中央軍の「Operations Inherent Resolve」で航空支援を提供する任務を遂行。第 40 戦闘航空旅団は、9 つの州の陸軍州兵部隊と現役の米陸軍攻撃ヘリ大隊で構成されている。

8 月 31 日のアフガニスタンからの米軍撤退を前に、国務省が主導したアフガニスタン国民を避難させる Operation Allies Refuge でも、州兵と航空兵が重要な役割を果たした。

空軍州兵部隊は、現役の空軍部隊と協力して、カブールのハミド・カルザイ国際空港に乗客や貨物を運んだ。

Air National Guard NEWS 2021 年 12 月 27 日

第4章 予備役に対する平素の訓練等

0 全軍共通

訓練1カ月に1週末、一年に2週間

初期訓練(Initial training)：新規登録隊員として、8～12週間続く所属支部の基本的な軍事訓練に参加する必要がある。業務によっては、上級トレーニングコースに参加することもできる。

毎月の教練(Monthly drill)：年間48回、期間または年間単位で教練(drill)を受ける必要がある。ほとんどの部隊は月に1回、週末に教練を行う。典型的な週末の教練は4時限で、部隊によっては平日を含む追加の教練を受ける必要がある場合もある。

年次訓練(Annual training)：年に2週間の年次訓練に参加する必要がある。

活動期間(Activations)：任意/必須別にフルタイムの兵役に就くことができる。これは、所属する部隊で行うことも、個別に行うこともできる。これらの活動は、期間も場所も様々である。例えば、自宅の近くの部隊で30日間勤務することもある。また、米国外での任務を支援するために最長1年間活動することもできる。一般的に、必須活動は義務であるため、拒否することはできない。

契約期間(Length of commitment)：契約期間の合計は3年から8年だが、軍種と特定の職業/仕事によって期間が異なる。

1 陸軍

(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve

予備役の兵士は、現役の兵士と同じ訓練を受ける。基礎戦闘訓練(Basic Combat Training：BCT)と高度な個人訓練(Advanced Individual Training：AIT)の後、陸軍予備役は民間人としての生活に戻り、月に1週間と年に2週間、スキルを磨くための訓練を受ける必要がある。

(2) 陸軍州兵 Army National Guard

年間の研修スケジュール：ほとんどの部隊は、雇用者に通知を行うため、数ヶ月前に年次訓練のスケジュールを立てるが、日程の変更は、予定外に休む場合の手続きよりも、簡単である。先発隊に参加する場合、あるいは年次訓練が従来の2週間を超える場合は、事前に雇用主への十分な周知が図られる。

追加トレーニング：追加トレーニングの日程は自分で決められるが、欠勤が勤務先の仕事に与える影響を最小限に抑えるよう努める必要がある。また、不要不急の訓練に参加する場合は、上司や同僚に配慮することが求められる。

訓練外の業務：多くの州兵は、訓練以外の活動をしている。これは、演習の支援や特別なプロジェクトに従事するための短期間の現役任務から、現役警備隊予備役や同様のプログラムでの数年にわたる現役任務まで、さまざまなものがある。この場合も、USERRAの規定により、そういった任務があることを雇用主に事前に通知しなければならない。また、この種の任務のほとんどは、累積5年の期限があり、それを過ぎるとUSERRAに基づく雇用主との再雇用の権利はなくなることも留意する必要がある。

2 海軍

(1) 連邦海軍予備役 Navy Reserve

予備役訓練 INACTIVE DUTY TRAINING (IDT)

- ・ IDT は、毎月、部隊の指定された週末に実施される。1 回の有給 IDT は 4 時間で、無給 IDT は 2 時間である。典型的な週末訓練は、4 つの IDT 期間(土曜日に 2 つ、日曜日に 2 つ)で構成され、基本給の 4 日分に相当する。IDT は、他の訓練や命令、海軍の必要性との兼ね合いで、必要な場合は再調整することができる。予備役の船員は、48 回の訓練期間のうち 40 回を終了すれば、予備役参加年として充足することができる。

(2) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

- ・ 海兵隊予備役は、13 週間の海兵隊新兵訓練を受け、現役海兵隊と同じ軍事職業専門分野で働き、ほぼ同じ資格要件を満たす必要がある。
- ・ 海兵隊の新兵訓練を終了し、軍隊の専門分野(MOS)をマスターした後、予備役の海兵隊員は職務を開始する。これ以降の訓練期間は、通常毎月 1 回の週末と毎年夏の 2 週間に行われる(全教練課程 full-drill status)。任務の最後の期間は、個人即応予備役(IRR)で過ごすことになり、支援要請がない限り、軍事活動に参加する義務はない。

(3) 沿岸警備隊 Coast Guard

沿岸警備隊の予備役は、ニュージャージー州ケープメイの沿岸警備隊訓練センターで 8 週間の基礎訓練を受ける。また、毎月 1 回の週末と毎夏 2 週間の訓練も行っている。

3 空軍

(1) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

基本的な軍事訓練(BMT : Basic Military Training)

空軍予備役の条件のひとつに、空軍でのキャリアに備えるための基礎軍事訓練(BMT)を修了することが挙げられる。テキサス州サンアントニオの統合基地にあるこの 8 週間のプログラムは、現役兵と空軍州兵が受けるのと同じ集中的な新兵訓練(boot camp)である。教室での講義、教練や演習、基本的な応急処置の学習、卒業に向けたスキルテスト等で構成されている。

第 1 週目：教練と研究

第 2 週目：防衛訓練

第 3 週目：応急処置トレーニング

第 4 週目：武器の訓練

第 5 週目：コンバットアームズトレーニング

第 6 週目：エアマンスキルトレーニング

第 7 週目：卒業準備

第 8 週目：卒業週

(2) 空軍州兵 Air National Guard

空軍の予備役として月に一回の週末の訓練と毎年二週間の現役訓練に参加する必要がある。

第2部 イギリス

概観

イギリス軍(British Armed Forces)は陸軍、海軍、空軍で構成される。大英帝国時からの伝統と実績もあり、現在でも世界有数の軍事大国である。現在では英国とその海外地域、また王室属領の防衛、また国益を促進する目的と世界の平和維持、人道支援活動にも活発に携わっている。

軍隊の予備役兵士の募集・保持アプローチは、アメリカのものとは、かなり異なっている。イギリスは全市民に国の健康医療サービスを保障し、安定した教育制度が確立され、一部の特別階級対象の教育施設を除けば、高等教育を受けることも比較的容易であり、国土が狭いことで、若者が独力で地方部から都市部へ移動することもそれほど困難ではないことも日本と似ている。(アメリカ軍はある意味で巨大な国土に存在する社会的、経済的格差の歪みに生まれた境遇にある若者に対し、新しい世界へのアクセスの手段、新しい生活を築くことにつながる尊敬に値する固い職業としての軍の魅力をアピールしている面がある。入隊時には手厚い手当と引き換えに、6年から8年のかなり長い期間の契約を求めている。)

イギリスでは、特別な職種でない場合には、長期契約はせず、一年毎に必須訓練(アメリカと同じく月に一週末、年に継続2週間)を行い、その訓練時間に応じて給与が支払われている。アメリカと異なり、訓練時間に上限はなく、月に一週末以上訓練を受け、その度に手当を支給してもらうことができる。さらにその1年間の必須訓練が完了し、毎年ある動員可能な能力を保持していることを示す適性試験に合格すると、階級毎、任期により上昇するボーナスが支払われ、予備役を保持している。訓練手当を受けている期間中は、招集に応じなければならない。

勤務先には、動員時や予備役であるということと解雇を禁じる法律がある程度で、直接的には、雇用主に予備役従業員が訓練や動員された時に生じる経済的な負担を補償し、また代替従業員を雇用する際の経費も負担する援助プログラムで対応している(アメリカでは、雇用主は軍人の雇用・再雇用を保障しなければならない法律がある)。

イギリス軍は国内だけでなく海外への派遣も一般的で、2014年からは予備役軍人も緊急時だけではなく、正規軍人が派遣されるどの任務へも配置される可能性がある。イギリスでは、経済的な利益のためではなく、軍人として国に奉仕することが多かった歴史的な背景もあり、予備役を貧しい層の経済的救済策ではなく、貧富に関係なくアメリカよりも幅広い層から集めようとしている側面があるが、やはり予備役の募集・隊員保持は根本課題となっている。それでも、アメリカのように人員募集の際に教育奨学金や入隊ボーナス等を条件として提示してはいない。

演習から3~4か月の基地への派遣等、予備役は正規軍とともに行動し、また特殊技能によって個別に任命されることもある。特殊部隊の予備役は、正規特殊部隊の欠員を埋めるために任地に派遣されることも任務となっており、正規軍の特殊部隊軍人と同じ基準を保つことが求められている。また軍としても特化した特殊技能を持った人材は、常勤している必要もないことがあるため、必要になった時のみ動員されている。

募集のある職務に志願すれば、一定期間常勤の軍人として任務に就ける取り決めもあり、これらのプログラムを使って予備役が民間の雇用先からの一時解雇と合わせて、半年や1年の任務に志願するケースもある。このように普段から最低限の訓練さえ受けていれば、予期せぬ雇用状況の変化があった際の生活保障のリスクヘッジとして、任務に就けるというような点、海外や国内での生活を経験できるという点等も、家族に対する責任がまだあまりない若い世代にとっては、予備役として登録しておくメリットにもなっている。

2019年からは国内外のコロナ禍救援サービスへの参加が多いが、世界中の平和維持のための派遣も継続している。

はじめに ～予備役に関する基礎情報～

英国予備役の種類(英国軍共通)

英国各軍の予備役には次のような種類がある。

- ①Regular Reserve/Standard Volunteer Reservists 標準予備役/標準志願予備役
2014年10月までに入隊した標準的な志願予備役は、訓練を継続し、緊急時にのみ動員される契約で志願できていたが、2014年10月の法令改正後の新規予備役は、正規軍人を派遣するどのような任務にも動員されることになった。「招集」に関わる項目を参照
- ②Full-Time Reserves Service (FTRS) 常勤予備役
Full-Time Reserve Service (FTRS) 常勤予備役は、一定期間、常勤として職務に応募することができる(「招集・動員」ではない)。貴重な経験を得ることができるため長期休暇を許可する雇用主もいるが、法的にはFTRSの任務から帰還した予備役を職務に復帰させる義務を雇用主は負っていない。
- ③Additional Duties Commitment (ADC) 追加服務契約
Additional Duties Commitment (ADC) 追加服務契約では、予備役が英国軍内で非常勤の仕事ができるようにしている。正規軍または予備役軍のどちらにも割り当てられる可能性があるが、多くの場合は本部施設で勤務する。ADCではジョブ・シェアリングの形をとる場合もあり、最低契約期間は13週間である。FTRSと同じく貴重な経験を得ることができるため、長期休暇を許可する雇用主もいるが、法的にはADCの任務から帰還した予備役を職務に復帰させる義務を雇用主は負っていない。
- ④High Readiness Reserves 高即応予備役
High Readiness Reservists (HRR: 高即応予備役) は、軍が緊急時に必要な特殊技能を持つ予備役である。HRRは志願制で、常勤の仕事を持つ場合(または週に2日以上勤務する場合)には、雇用主からも同意を得る必要がある。この同意は年次毎に更新される。動員された場合にはHRRは最大9か月(2014年10月以降の入隊者は12か月)任務に就く。
- ⑤Sponsored Reserves 後援予備役
The Sponsored Reserve 後援予備役制度は、国防省が民間企業従業員の内のある一定の割合について、予備役の業務を行うという契約を請負業者と結ぶものである。これらの予備役は軍の一部として委託された業務に携わるよう訓練され任務に就くことになる。訓練を受けた専門家による特定のサポート業務を可能にするために、1996年に予備軍法によって創設された。具体的な例としては、人員輸送便の客室乗務員は、飛行先が危険な地域でない限り、一般に軍人である必要はない。また、国内の気象情報は私企業が提供しているが、依然として戦場では情報が必要なため、そうした情報の提供者は軍人である。しかし、このような役割を全て軍人で賄うのは非効率である。予備役がいれば、第一線の兵士が第二、第三の仕事のために作戦から引き抜かれるのを防ぐことができるため確保される。

第1章 予備役

第1節 予備役の概要(採用等の条件)

1 陸軍

(1) 英国陸軍予備役 Army Reserve

ア 応募資格

- ・英国、アイルランド、英連邦国籍所持者または重国籍者。
- ・兵士として入隊する場合には18歳であること(18歳の誕生日に入隊できるように17歳9か月から応募することができる。)
- ・兵士として入隊する場合、49歳11か月までに応募すること。フェーズ1の訓練課程を51歳の誕生日までに開始し、フェーズ2の課程に52歳までに参加し始めていること。
- ・士官として入隊する場合、48歳9か月までに応募すること。訓練課程を50歳の誕生日までに開始すること。
- ・再入隊者は52歳の誕生日まで入隊でき、士官の場合には士官として以前任務経験がある場合には57歳の誕生日まで。
- ・士官として志願する場合以外にはその他に必要な資格なし。
- ・健康状態が医療的に基準を満たしていること。
- ・士官や技術職への応募を除き、最低限の学歴規定はない。

イ 任期契約等

- ・英国軍予備役入隊時の契約は、定期訓練課程(1年間で通常27日、特殊技能者の場合最低17日)期間中の訓練手当だけが支払われるシステム。米軍とは異なり予備役訓練時間の上限はない。支給額が低い代わりに任務の契約内容も米軍ほど厳格ではない。(米軍の予備軍は一定の契約期間「6年から8年」の任期に同意することにより、かなり優遇された入隊ボーナスや奨学金手当等が支給されている。英国はアメリカとは異なり医療費も学費もそれほど高額ではない。)

(2) 陸軍特殊部隊予備役(特殊空挺部隊予備役(SAS)R)

ア 応募資格

- ・陸軍予備役(AR)所属ユニットで基本訓練・経験を積み、その後SAS予備役選考に申請。応募までの5年間英国に居住していること。
- ・予備役入隊希望者は男女ともに17歳9ヶ月から42歳6カ月まで応募可能。
- ・SAS(R)選考の選抜入隊週末訓練(Selection Induction Weekend(SIW))の際に44歳未満であること。
- ・適性試験の基準を満たし、海外への派遣と任務に必要な厳しい長期に渡る訓練を受ける決意を持っていること。

[身体条件の例]

- ミッドサイプル76kg。
- メディシンボール投げ3.1m。
- 2km走行10分15秒。
- Multistage Fitness Test (MSFT)/Beep test レベル8.06。
ビーptestは、20mシャトルラン(往復持久走)とも

呼ばれ、体力測定において持久力を測定する項目として採用されている。一定の間隔で一音ずつ電子音が鳴る。電子音が鳴ってから次に鳴るまでに 20m 間隔の 2 本の線の一方からもう一方に走行し、折り返してこの動作を繰り返す。電子音の間隔は約 1 分ごとに短くなる。電子音の設定速度を維持できなくなり、走るのをやめたとき、または 2 回続けてどちらかの足で線に触れられなくなったときにテストを終了し、折り返しの総回数を測定する。

イ 任期契約等

- ・既に軍で勤務している精鋭部隊のため、任期は確認出来なかった。特殊部隊隊員として動員可能な状態を継続するため高い意識が求められる。

(3) 陸軍特殊部隊予備役(特殊部隊通信隊予備役 (Reserve))

63 (UKSF) Signal Squadron 信号戦隊

補足：63(UKSF)信号戦隊は、英国特殊部隊(UKSF)に通信サポートを提供する予備信号ユニット。

63(UKSF)信号戦隊は、英国陸軍通信部隊の一部であり、現在 18(UKSF)信号連隊の傘下にある。

戦隊は軍と民間の志願者によって配置されている。候補者は UKSF(R)の選抜試験に合格する必要がある。ICT 従事経験者は、採用される可能性が高くなる。

部隊は 2017 年に 63 (SAS) Signal Squadron /63(SAS)信号戦隊から改名された。

ア 応募資格

- ・既に正規陸軍・陸軍予備役、他の軍で勤務している専門家、およびその支援チームメンバーを中心に募集。

イ 任期契約等

- ・既に軍で勤務している精鋭部隊のため、任期は確認出来なかった。特殊部隊隊員として動員可能な状態を継続するため高い意識が求められる。

2 海軍

(1) 英国海軍予備役 Royal Naval Reserve : RNR

ア 応募資格

- ・英国、アイルランド、英連邦国籍所持者または重国籍者。
- ・海兵として入隊する場合は 16～42 歳、士官として入隊する場合は 17～42 歳(年齢上限は軍務や特殊技能により異なる。)
- ・2 年前までに退役した海兵隊員は 16 歳～56 歳(退役前等級)、士官は 20～56 歳(退役前任務士官)。
- ・士官として志願する場合以外には、その他に必要な資格なし。
- ・メディカルチェックで基準を満たしていること。

イ 任期契約等

- ・海軍/海兵隊予備役入隊時の契約は、定期訓練課程(1 週間に

夜間訓練 1 日、月に 1 週末、年間連続 2 週間)の期間中の訓練手当だけが支払われるシステム。訓練時間の上限はない。

(2) 海兵隊予備役 Royal Marines Reserve

ア 応募資格

- ・英国、アイルランド、英連邦国籍所持者または重国籍者。
- ・訓練開始時に 16～32 歳であること(年齢上限は英国海兵隊経験のある特殊技能、その時の状況、階級により異なる。)
- ・最低身長は 145 cm、最大 BMI は 28(ウエストが 94 cm未満であれば免除規定もあり)。最低体重は 65 kg、BMI は 23。
- ・英国海兵隊予備役週末訓練(Royal Marines Reserve Selection Weekend)を完了できること。
- ・海軍水泳試験(Naval Swimming Test)の基準を満たすこと。

イ 任期契約等

- ・海軍/海兵隊予備役入隊時の契約は定期訓練課程(1 週間に夜間訓練 1 日、月に 1 週末、年間連続 2 週間)の期間中の訓練手当だけが支払われるシステム。訓練時間の上限はない。

(3) 海兵隊特殊部隊予備役 特殊船舶サービス

Special Boat Service (Reserve)

ア 応募資格

- ・選抜開始週末訓練(Selection Induction Weekend (SIW)参加時に 44 歳未満であること。
- ・英国軍予備役か 2 年前までに正規軍人であること(最低軍人(予備役・正規)歴 2 年)。元正規兵は、応募前に予備役部隊に所属する必要がある。

イ 任期契約等

- ・軍に従事している精鋭部隊のため、任期は公開されていないが、特殊部隊隊員として動員可能な状態を継続するため、高い意識が求められる。

3 空軍

英国空軍予備役 Royal Air Force Reserve

ア 応募資格

- ・英国、アイルランド、英連邦国籍所持者または重国籍者。
- ・年齢要件は、基本的には、16 歳以上 47 歳未満だが、選択する職務によって異なる。最年少は 15 歳 9 ヶ月の航空兵。最高齢は、医務官の 55 歳。
- ・18 歳未満は、応募前に親権者の同意が必要。
- ・健康状態が医療的に基準を満たしていること。

イ 任期契約等

- ・週末と 2 週間の連続訓練期間に分かれ、年間 27 日以上参加。ただし、基礎訓練終了後は、日程調整により、訓練に参加することもできる。
- ・予備役として勤務した日数に応じ、正規隊員と同様の手当が支給される。

- ・非拠出型年金と休日手当も支給される。
- ・任務に従軍する必要がある場合は、本人と勤務先の両方に必要な手当を支給する場合がある。予備役招集期間中(最大6か月間)、勤務先は手当により人員を補充することができる。

第2節 軍種別及び任務別の分類

1 陸軍

(1) 英国陸軍予備役 Army Reserve

- ・戦闘(COMBAT)
- ・施設(ENGINEERING)
- ・人事と財務(HUMAN RESOURCES AND FINANCE)
- ・情報・IT・通信(INTELLIGENCE, IT & COMMUNICATIONS)
- ・物流・支援(LOGISTICS & SUPPORT)
- ・医療(MEDICAL)
- ・音楽・式典(MUSIC & CEREMONIAL)
- ・医療(MEDICAL)
- ・音楽・式典(MUSIC & CEREMONIAL)

(2) 陸軍特殊部隊予備役(特殊空挺部隊予備役(SAS) R)

- ・特殊部隊予備役部隊は22人のSAS復員軍人と民間志願者で形成され、正規特殊部隊第22SASへの人員や負傷者の交代要員を提供。

(3) 陸軍特殊部隊予備役(特殊部隊通信隊予備役(Reserve))

63 (UKSF) Signal Squadron 信号戦隊

- ・無線システムオペレーター(Radio Systems Operator)
- ・システム工学技術者(Systems Engineering Technician)
- ・ドライバー/車両電気技師(Driver/Vehicle Electrician)
- ・車両機械技師(Vehicle Mechanic)
- ・軍需専門家(Supply Specialist)
- ・人材行政(HR Administrator)
- ・医療技術士(Medical Technician)
- ・シェフ(Chef)
- ・その他

英国特殊部隊の訓練や任務の通信・情報システム支援を行う。

2 海軍

(1) 英国海軍予備役 Royal Naval Reserve : RNR

- ・生物医学科学者(Biomedical Scientist Reserve)
- ・牧師(Chaplain Reserve)
- ・サイバーユニット(Cyber Unit Reserve)
- ・歯科看護師(Dental Nurse Reserve)
- ・歯科士官(Dental Officer Reserve)
- ・元正規海軍経験者(Ex-regular Forces Reserve)
- ・一般入隊士官(General Entry Officer Reserve)
- ・一般入隊等級(General Entry Rating Reserve)

- ・医療士官(Medical Officer Reserve)
- ・精神保健看護師(Mental Health Nurse Reserve)
- ・海軍看護師(Naval Nurse Reserve)
- ・看護士官(Nursing Officer Reserve)
- ・手術部門医(Operating Department Practitioner Reserve)
- ・薬剤師(Pharmacist Reserve)
- ・理学療法士(Physiotherapist Reserve)
- ・放射線技師(Radiographer Reserve)。

(2) 海兵隊予備役 Royal Marines Reserve

- ・重兵器専門家(Heavy Weapons Specialist)
- ・揚陸艇艇長(Landing Craft Coxswain)
- ・物理トレーニングインストラクター(PTI)
- ・攻撃工兵(Assault Engineer)
- ・漕手泳者(Swimmer Canoeist)

新兵は最低1年間訓練し、合格するとグリーンベレーが授与される。
その後、下記分野のいずれかに特化する形で任命される。

- ・落下傘兵(Parachutist)
- ・小型船舶講師(Small-boat instructor)
- ・専門兵器講師(Expert weapons instructors)。

(3) 海兵隊特殊部隊予備役 特殊船舶サービス
Special Boat Service (Reserve)

- ・正規軍 SBS の増員・交代要員。

3 空軍

英国空軍予備役 Royal Air Force Reserve

- ・部隊防護(Force protection)
- ・兵站業務(Logistic)
- ・情報(Intelligence)
- ・医療・医療援助(Medical and medical support)
- ・航空機乗組員 (Aircrew)
- ・人事援助(Personnel Support)
- ・航空作戦援助(Air operations support)
- ・サイバースペース(Cyberspace)
- ・技術・施設(Technical and engineering)

※ 上記を大区分として具体的な職務が割り当てられる

例) 兵站業務(Logistic)の場合

- ・サプライヤー
- ・音楽隊
- ・調理師
- ・航空機の手配・整備
- ・運転手
- ・要員と貨物の移動

第3節 予備役総兵力

※ 軍種別の推移については、別表資料を参照

1 陸軍

	2021年
OF-9 大将	0
OF-8 中将	0
OF-7 少将	5
OF-6 准将	16
OF-5 大佐	140
OF-4 中佐	709
OF-3 少佐	2,198
OF-2 大尉	2,082
OF-1/OF(D) 中尉/少尉/士官候補生	935
OR-9 一等准尉	354
OR-8 二等准尉	1,404
OR-7 二等軍曹	1,525
OR-6 三等軍曹	1,937
OR-4 伍長	3,118
OR-3 兵長	3,996
OR-1/OR-2 二等兵・一等兵	11,614
全階級	30,033

2 海軍

	2021年
OF-9 大将	0
OF-8 中将	0
OF-7 少将	2
OF-6 准将	7
OF-5 大佐	13
OF-4 中佐	139
OF-3 少佐	491
OF-2 大尉	343
OF-1/OF(D) 中尉/少尉/士官候補生	242
OR-9 一等准尉	133
OR-8 二等准尉	25
OR-7 上等軍曹	331
OR-6 二等軍曹	266
OR-4 伍長	318
OR-3 上等兵	48
OR-1/OR-2 二等兵・一等兵	1,719
全階級	4,077

3 空軍

	2021 年
OF-9 大将	0
OF-8 中将	0
OF-7 少将	8
OF-6 准将	25
OF-5 大佐	20
OF-4 中佐	139
OF-3 少佐	250
OF-2 大尉	288
OF-1/OF(D) 中尉/少尉/士官候補生	30
OR-9 一等准尉	152
OR-8 二等准尉	0
OR-7 飛行軍曹/技能兵長	176
OR-6 軍曹	314
OR-4 伍長	444
OR-3 伍長代理	42
OR-1/OR-2 航空機兵/上級航空機兵	1, 413
全階級	3, 301

第4節 予備役総兵力を向上させるための施策

0 全軍共通

(1) 軍の年金プログラム

- ・10日訓練に参加する毎に有給休暇1日。軍・民間の資格・免許の取得。軍関連施設への無料利用。
- ・任務に合わせた渡航の機会。軍のスポーツ・訓練チームへの参加。訓練・任務中の食事・食費支給。
- ・予備役とその家族はHM Forces Railcard(列車運賃)が38%割引。

1 陸軍

(1) 英国陸軍予備役 Army Reserve

- ・日当例：正規陸軍の給料を日毎に分けたもの。
 - 訓練課程中(階級未指定)：£40.13(約6千円)
 - Private：£51.22(約8千円)
 - Lance Corporal：£68.61(約1万円)
 - Corporal：£80.01(約1.2万円)
 - Sergeant：£90.02(約1.4万円)
 - Second Lieutenant：£83.95(約1.3万円)
 - Lieutenant：£86.90(約1.3万円)
 - Captain：£107.58(約1.65万円)
 - Major：£135.52(約2.1万円)

(2) 陸軍特殊部隊予備役(特殊空挺部隊予備役(SAS)R)

- ・訓練・動員中：通常の予備役基本手当に加えて112£/日(約1.7万円)。

(3) 陸軍特殊部隊予備役(特殊部隊通信隊予備役(Reserve))

63(UKSF) Signal Squadron 信号戦隊

- ・訓練・動員中：通常の予備役基本手当に加えて112£/日(約1.7万円)。

2 海軍

(1) 英国海軍予備役 Royal Naval Reserve : RNR

- ・最低24日間のトレーニングを完了すると、毎年免税の報奨金(ボーナス)を受け取ることができる。また、四半期ごとに訓練した日数分の給与が支払われる。

(2) 海兵隊予備役 Royal Marines Reserve

- ・除隊後の元正規隊員のみならず予備役に対しても再登録を促進。

具体例)

-英国海兵隊員または伍長として1~5年前に除隊した元隊員は、「プロジェクト・フローリー」キャンペーンによる10,000£(約154万円)の再入隊ボーナスを受給できる場合がある。

- ・金銭的なインセンティブ以外に、以下のような質的な特徴やメリット/恩恵を訴求。

国への奉仕、自己研鑽/自己啓発機会、海外渡航の経験、フィットネス/健康維持、専門の海事知識の習得等。

(3) 海兵隊特殊部隊予備役 特殊船舶サービス
Special Boat Service (Reserve)

- ・ 訓練後に得られるスキルについて訴求。
具体例)

- 落下傘降下技術や特殊部隊における医療知識、言語能力、解体技術等の習得。

3 空軍

英国空軍予備役 Royal Air Force Reserve

- ・ 予備役の日当

新入隊員 New Entrant £37.49(約6千円)

主任/上級飛行士、飛行士 Leading/Senior Aircraftman Or Airwoman
£46.42(約7千円)

伍長 Corporal £81(約1.2万円)

軍曹 Sergeant £93.57(約1.4万円)

飛行曹長 Flight Sergeant £106.73(約1.1万円)

准尉 Warrant Officer £122.68(約1.9万円)

- ・ 予備役将校の日当

パイロット/中尉 Pilot/Flying Officer £65.25(約1万円)

飛行中尉 Flight Lieutenant £100.49(約1.5万円)

戦隊長 Squadron Leader £126.55(約2万円)

第2章 予備役将官等

第1節 予備役将官の有無

いずれの軍種でも予備役将官は存在し、2021年の最高階級ほどの軍種も少将だが、2018-2019年には空軍で中將が1名存在した。

過去5年間の各軍における予備役将官数

1 陸軍

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
OF-9 大將	0	0	0	0	0
OF-8 中將	0	0	0	0	0
OF-7 少將	5	6	6	6	5
OF-6 准將	16	17	17	19	16

2 海軍

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
OF-9 大將	0	0	0	0	0
OF-8 中將	0	0	0	0	0
OF-7 少將	0	0	1	0	2
OF-6 准將	2	2	2	3	7

3 空軍

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
OF-9 大將	0	0	0	0	0
OF-8 中將	0	1	1	0	0
OF-7 少將	4	5	5	5	8
OF-6 准將	18	20	19	20	25

第2節 軍種別の予備役の階級別役割、人数

1 軍種別の階級別役割

(1) 陸軍

少将 0-7

Major General (二つ星) : 師団規模の編隊、陸軍大学(Royal Military Academy Sandhurst)を指揮し、国防省と他の本部を統轄する。

准将 0F-6

Brigadier (一つ星) : 英国陸軍の将官階級である。准将は旅団を指揮するか、参謀長のように作戦運営能力グループを統轄する。

大佐 0F-5

Colonel : 通常参謀士官として大隊/旅団規模で勤務する。参謀職では最下級であるが、上級士官への主要顧問職である。

中佐 0F-4

Lieutenant Colonel : 通常 4~5 副部隊をまとめた 650 人までの部隊を指揮する。司令官(CO)とも呼ばれる。通常の任期は 2 年。

少佐 0F-3

Major : 通常 120 人の士官・兵を統轄し、駐屯地や戦略任務の訓練・福祉・運営、機材の管理を行う。

大尉 0F-2

Captain : 通常 5~10 年勤務。兵士 120 人までの副部隊の副指揮官。計画、決定過程、現地オペレーションの戦略的責任や機器の維持、運搬や人材に渡る分野に大きくかかわる重要な役職。

中尉 0F-1

Lieutenant : 30 人前後の小隊・中隊を指揮し、少尉よりも大きな権限が与えられる。所属部隊外で特殊技能を学ぶ機会がある。

少尉/士官候補生 0F-1/ 0F (D)

Officer Cadet : 軍大学(Royal Military Academy Sandhurst)または大学将校訓練プログラム(University Officers' Training Corps)で訓練中に与えられる階級。訓練が完了した後、訓練と作戦の両方で小隊または軍隊に最大 30 人の兵士を指揮する。

一等准尉 0R-9

部隊の指揮官の上級顧問であり、最大 650 人の将校、兵士、装備のリーダーシップ、規律、福祉面での責任を負う。

二等准尉 0R-8

最大 120 名の兵士からなる中隊、飛行隊、砲兵隊の訓練、福祉、規律に重点を置いた上級管理職。

二等軍曹 0R-7

約 120 人の兵士の人員管理、または小隊や軍隊の指揮を執る。

三等軍曹 0R-6

最大 35 人の兵士の部隊または小隊の指揮を執り、下級将校に助言および支援する。

伍長 0R-4

戦車や銃など、より多くの兵士や装備の指揮を執る。

(2) 海軍

上級少将 0-8

Rear admiral: 英国海軍全体の指揮を担う。
下級少将 0-7
Commodore: 大規模な英国海軍艦隊の司令官。
大佐 0-6
Captain: 大きな船舶の司令官または陸上機関で高級将官の役務。
中佐 0-5
Commander: 軍艦や潜水艦、戦隊、陸上機関の司令官。防衛庁での任務も可能。
少佐 0-4
Lieutenant commander: 部門長、小規模の部隊の副艦長・部隊長の任務。
大尉 0-3
Lieutenant: 作戦環境で 30 か月程度勤務した後に昇格。
士官候補生 0-2
Midshipman: Britannia Royal Naval College で専門分野の訓練中の階級。
1 等准尉 0-1
Warrant Officer 1: 下士官・兵で最高階級、士官と兵の間で連携をとる立場にある。

(3) 空軍

准将 0-8
Air Marshal: 政府機関で勤務し、国防方針の決定等を行う。
准将 0-7
Air Vice-Marshal: 大規模な英国海軍艦隊の司令官。
大佐 0-6
Air Commodore: 大規模な英国海軍艦隊の司令官。
空軍中佐 0-5
Group Captain: 上級士官
空軍少佐 0-4
Wing Commander: 数機の全翼機を指揮する。
空軍大尉 0-3
Squadron Leader: 飛行中隊の指揮者。
空軍中尉 0-2
Flight Lieutenant: 飛行中隊の指揮者代理。
空軍少尉 0-1
Flying Officer: 下級士官。

2 軍種別の階級別人数

(1) 陸軍

	2017-2021 年平均
OF-9 大将	0
OF-8 中将	0
OF-7 少将	6
OF-6 准将	17
OF-5 大佐	125
OF-4 中佐	633
OF-3 少佐	2,063
OF-2 大尉	1,956
OF-1/OF(D) 中尉/少尉/士官候補生	828
OR-9 一等准尉	321
OR-8 二等准尉	1,413
OR-7 二等軍曹	1,479
OR-6 三等軍曹	2,038
OR-4 伍長	3,172
OR-3 兵長	3,991
OR-1/OR-2 二等兵・一等兵	11,775
全階級	29,816

(2) 海軍

	2017-2021 年平均
OF-9 大将	0
OF-8 中将	0
OF-7 少将	1
OF-6 准将	3
OF-5 大佐	12
OF-4 中佐	128
OF-3 少佐	476
OF-2 大尉	332
OF-1/OF(D) 中尉/少尉/士官候補生	249
OR-9 一等准尉	105
OR-8 二等准尉	23
OR-7 上等軍曹	305
OR-6 二等軍曹	255
OR-4 伍長	305
OR-3 上等兵	60
OR-1/OR-2 二等兵・一等兵	1,538
全階級	3,791

(3) 空軍

	2017-2021 年平均
OF-9 大将	0
OF-8 中将	0
OF-7 少将	5
OF-6 准将	20
OF-5 大佐	11
OF-4 中佐	101
OF-3 少佐	192
OF-2 大尉	237
OF-1/OF(D) 中尉/少尉/士官候補生	35
OR-9 一等准尉	112
OR-8 二等准尉	0
OR-7 飛行軍曹/技能兵長	144
OR-6 軍曹	274
OR-4 伍長	390
OR-3 伍長代理	38
OR-1/OR-2 航空機兵/上級航空機兵	1,493
全階級	3,053

第3節 招集された場合の運用例

1 陸軍

(1) 英国陸軍予備役 Army Reserve

任地：キプロス (2020年2月3日記事)

任務：第7ライフル中隊と第5フュージリア連隊(Royal Regiment of Fusiliers)に属する240人の予備役が、キプロスに動員される。キプロスとトルコ北部の緩衝地帯をパトロールの任務を務める。

「本動員は95%が予備役で占められている点で珍しい任務である」(James Gayne 中佐)。

任地：ケニア/3か月(2021年12月21日記事)

任務：第4大隊ヨークシャー連隊の予備役35人、イギリス陸軍訓練部隊(BATUK)における軍保全任務を3か月務めた。

(2) 陸軍特殊部隊予備役(特殊空挺部隊予備役(SAS)R)

陸軍特殊部隊予備役(特殊部隊通信隊予備役(Reserve))

63(UKSF) Signal Squadron 信号戦隊

任務：正規特殊部隊の人員増員・交換要員の派遣にて、殆どの任務で派遣。

2 海軍

(1) 英国海軍予備役 Royal Naval Reserve : RNR

任地：バルト海(2019年6月26日記事)

任務：Baltic Protector 派遣。共同派遣軍の今世紀で最大規模の第一段階動員任地へ派遣。英国海軍予備役隊員は上陸作戦部隊と3 Commando Brigade Royal Marinesと共にバルト海地区の保安目的任務「Baltic Protector」に動員された。

(2) 海兵隊予備役 Royal Marines Reserve

任地：ドイツ(2015年11月15日記事)

任務：英国海兵隊予備役100人。英国海兵隊予備役部隊はドイツのゼンネラーガー訓練区で大規模演習 Commando Phoenix で発射演習に参加した。

3 空軍

英国空軍予備役 Royal Air Force Reserve

任務：Covid-19 医療支援任務(2020年4月)。空軍予備役が Operation RESCRIPT に参加。12人毎のチームに分かれ、必要なCovid-19検査会場を設置した。

その他：Oxfordshire の RAF Brize Norton の航空運搬保安の任務(2021年11月3日)

第4節 招集されていない場合の勤務形態

全軍共通

雇用主・予備役の訓練・派遣を支援するプログラム

<民間企業で就職した場合の再雇用保障等>

予備役兵は招集時に任務に就くということ以外の雇用規制はないため、ほとんどの予備役は、民間・公共の企業に勤務している。米軍と異なり、任務契約が厳しくないこともあり、米国のような雇用主に対する包括的な雇用保護義務はないが、以下のような雇用主・予備役の雇用環境や援助システム等についての特徴がある。

雇用主

- 訓練のための休暇を与える義務はないが、休暇を与える企業は少ない。
- 事業上の理由で職員を解雇する際、「予備役・動員されたこと」を解雇理由にすることはできない。
- 訓練中・動員中の予備役に関わる費用を援助するプログラムとして、通常の職員が予備役の給与より高い場合の差額(最大一日£100:約1.5万円)の負担、予備役の代わりに臨時職員を探すための広告・斡旋業者手数料等の補助、動員前後5日の費用、制服がある場合代理職員の制服費75%、代理職員の職務訓練費(最大£2,000:約31万円)、他の職員が残業して欠員を補助する場合にはその残業代金、動員された予備役が職場復帰する際にかかる訓練費等を支給している。
なお、中小企業に対しては、上記の費用に加え、毎月£500(約7.7万円)を支給。

予備役

- 入隊後、雇用主情報を提出する必要がある。
- 通常28日前に動員招集通知が届く。できるだけ早く雇用主に通知しなければならない。
- 動員中に民間の給与と軍の手当の差額を補填するプログラム(最大400£/日(約6.2万円)、特殊技能者が医療関係で顧問として参加する場合には、最大一日£822(約12.6万円)まで受給できる手当等がある。
- 通常雇用主が負担している福祉費用(健康保険、医療ケア、生命保険、扶養する子供の教育費、居住費等)を補填するプログラムがある。家族用の社用車が使用できなくなる場合には一日£10.70(約1,600円)まで支給。

第3章 招集

第1節 予備役の動員名称、命令権者、動員目的、規模、招集される対象、期間など

※ 具体的な動員名称や動員目的、規模、招集される対象、期間などの情報は確認出来ず
全軍共通

1 予備役と法制度

全軍の予備役の動員に関する基本指針として、2014年の国防改革法(the Defence Reform Act 2014 : DRA14)を反映した JSP753(Joint Service Publication : 英国の国防省関連の文書)がある。DRA14 は 1996年予備役部隊法(the Reserve Forces Act 1996 : RFA96)を改正し、国防省長官が、正規軍兵士を使用することが必要または望ましいと考えた場合、予備役部隊の動員も可能になった。また、第56条に基づく召集命令で動員された予備役が勤務を求められる期間を、9カ月から12カ月に延長された。

この改正により、予備役が動員される状況が大幅に拡大され、予備役が全軍に渡り効果的に統合し、国防能力に対して柔軟かつ持続的な対処が図れるようになった。

2014年の規定変更により、予備役としての動員のされ方は、入隊した時期によって異なる。

政府白書「2020年未来戦力における予備役部隊」は、英国の予備役部隊の構造、規模、役割の変更を打ち出した。予備役部隊は、正規軍とより密接に統合され、より頻繁かつより幅広い任務で任用されることが期待されている。

[参考：2014年の規定変更]

2014年10月1日以前に入隊した予備役は、差し迫った国家の危機や戦争等の有事の場合及び英国外の生命と財産を保護する場合等、特定の状況でのみ動員される。2014年10月1日以降に入隊した予備役に適用される新条件に移行するかどうかを選択することができる。

2014年10月1日以降に入隊した予備役は、正規軍兵士とほぼ同じ扱いで召集される。この規定の変更により、予備役が動員される最長期間は9カ月から12カ月に延長された。12ヶ月の動員期間には、訓練、配備、勤務後の療養が含まれる。

2 動員

予備役の動員を国務長官に勧告するにあたって、司令部は、その利用が以下の事項に該当するかを検討しなければならない。

- ・ 定義された国防成果または特定の軍事任務に合致していること
- ・ 可能な限り、雇用が維持され、雇用主の全般的な支持が得られる可能性が高いこと
- ・ 国防費に見合う価値を提供するものであること

なお、動員が許可される可能性のある活動の種類は、以下の通りである。

- a. 常設統合作戦基地や海上部隊の運用支援等の常設軍事任務
- b. 英国内外の作戦
- c. 軍事能力構築、短期のチーム訓練、防衛外交目標を直接支援する活動等の防衛関与任務

3 動員プロセス

a. Statement of Requirement

司令部はそれぞれの活動における戦力創出と作戦や任務に予備役を動員する必要があるかどうかの判断に責任を持つ。通常、作戦要件記述書(the operational Statement of Requirement : SOR)または統合参謀総長(Chief of the Defence Staff:CDS)指令の見直しの後に確定されるものであり、全ての任務に必要な能力を詳述する。

b. Call Out/Recall Order

高即応予備役(High Readiness Reserves : HRR)や後援予備役(Sponsored Reserves : SR)を動員するために招集命令は必要ないが、招集通知を発行する権限は、国防長官から関連する司令部に委任されることがある。

c. Selection of Personnel for Mobilisation

招集された場合、合法的に与えられた休暇や合理的な理由がなければ、召集命令に応じなければならない。しかし、雇用主は、予備役が動員される義務の延期や免除を申請する権利があり、また、すでに兵役についている雇用者がいる場合は、兵役の解除や除隊を申請する権利も保持している。

国防省は、召集令状を出す前に選別基準を適用し、予備役の派遣される意思、適性、利用可能性等を踏まえ、動員時の欠員リスクを軽減している。その他、作戦上の要件、財政的影響(財政援助のレベルを含む)、国防総省の増強方針等の関連ガイダンスも考慮している。

d. Call Out/Recall Notice

法的強制力のある召集通知は、動員担当の兵務庁長官が発行し、出頭日を指定している。通知書は、予備役の雇用主にも送られる。

e. Acceptance into Service

兵役への受け入れは、通常、動員センターで動員訓練期間とともに行われる。

f. Pre-Deployment Training, Deployment (or Task) and Post Operational Activity

作戦部隊や艦船に配属された予備役は、通常、配備前に任務別訓練(Mission Specific Training : MST)や配備前訓練(Pre-Deployment Training:PDT)を受けるが、基本的に配属前訓練、配属(または任務)、および配属後の段階別に構成される。

g. Demobilisation

復員は、予備役が永年勤続期間から正式に任命解除されるための手続きで、予備役が年次または作戦後の休暇等で解放される前に、未解決の問題がないことを確認する。雇用主は、予備役が職場に復帰しやすくするため、また1985年のSafeguard of Employment Actに準拠するために、予備役の解除とその解除日の通知を受け取る。

第2節 最近の招集事例

1 陸軍

(1) 英国陸軍予備役 Army Reserve

任地：アフガニスタン/カブール(6.5 カ月)

任務：銃手 Ben Dawson は、第 295 Battery Royal Artillery に所属し、正規軍隊である第 16th Regiment, Royal Artillery と共に動員された。カブール空港を近年増加しているドローンによる攻撃から守る航空防衛の任務。(2021 年 6 月 23 日)

任地：英国国内

任務：3,000 人の予備役をコロナ禍対策に動員。予備役は全国の Covid 対策活動の支援に動員。医療・搬送援助、施設整備や会計といった特殊技能を用いて調整士官として勤務。(2020 年 4 月 2 日)

(2) 陸軍特殊部隊予備役(特殊空挺部隊予備役 (SAS) R)

陸軍特殊部隊予備役(特殊部隊通信隊予備役 (Reserve))

63 (UKSF) Signal Squadron 信号戦隊

任務：正規特殊部隊の人員増員・交換要員として、ほとんどの任務で派遣

2 海軍

(1) 英国海軍予備役 Royal Naval Reserve : RNR

国益のために必要であれば、国内に限らず国外に派遣されることがある。任命地は紛争地の場合もあれば、人道危機的な状態を支援する場合もある。通常の任期は 6 カ月。

任地：南・東シナ海

任務：国際合同訓練派遣。財務省に勤務する海軍予備役 Joe Livesey 大尉は、数人の海軍予備役が空母打撃群の一員として正規海兵と共に派遣。(2021 年 12 月 13 日)

(2) 海兵隊予備役 Royal Marines Reserve

海兵隊予備役は、ほぼ全ての作戦派遣や紛争状況に派兵されている (Operation Telic や Operation Herrick を含む)。

任地：マンチェスター区域

任務：Covid-19 の救援活動。全部で 82 人の予備役(陸軍予備役 29 人、空軍予備役 41 人、海軍予備役 4 人、海兵予備役 8 人)がマンチェスター区域に派遣され、Covid 検査施設等の援助任務を行った。(2021 年 3 月 8 日)

(3) 海兵隊特殊部隊予備役 特殊船舶サービス

Special Boat Service (Reserve)

任務：正規軍 SBS の人員増員・交代要員。

3 空軍

英国空軍予備役 Royal Air Force Reserve

空軍予備役の動員は英国内または、国外、他の基地の可能性がある(6 カ月+動員前後の 6 カ月)。予備役は所属部隊と移動すること、他の RAF 軍人の交換要員、正規軍人や他の職種の子備役とともに勤務する

場合もある。特定の割り当てだけでなく、大規模災害の救援活動の場合もある。

任地：リビア、イタリア

任務：前協議会職員で空軍予備役 Tom Calver (Flight Lieutenant)。NATO 作戦の支援でリビアに英国補助空軍の一部として参加。リビアの民間人を保護するための任務(4か月半の任期)。帰国後、新たな動員通知があり、通知後 48 時間でイタリアに派遣され (Operation Ellamy) 機動報道チームの一員として英国と国際視聴者向けにメディア報道を担当。2008 年から 2010 年にアフガニスタンにも派遣。

第4章 予備役に対する平素の訓練等

1 陸軍

(1) 英国陸軍予備役 Army Reserve

陸軍予備役は一年に19日または27日(部隊による)訓練することでボーナスを受給できる。訓練期間の上限なし。ほとんどの職務には年に27日間の必須訓練(週末訓練含む)がある。特殊技能部隊の場合であれば年に19日。年次免税ボーナス受給には、毎年、訓練試験(Military Training Tests)を受ける必要がある。

(2) 陸軍特殊部隊予備役(特殊空挺部隊予備役(SAS)R)

陸軍特殊部隊予備役(特殊部隊通信隊予備役(Reserve))

63(UKSF) Signal Squadron 信号戦隊

特殊部隊予備役は、正規特殊部隊とともに動員されるため、一般的な予備役職以上の厳しい訓練を常に受け続け、動員準備が常にできているように必要な技能を維持しつづけることが求められる。

2 海軍

(1) 英国海軍予備役 Royal Naval Reserve : RNR

・新規入隊研修

パート1

20週間、地元の部隊で夜間訓練、または週末に英国内の他の部隊で訓練を受ける。海軍の知識、パレード訓練、体力づくりを行う基礎的な段階。

パート2

コーンウォールのHMS ローリー(海軍の基礎訓練施設)での2週間の訓練で、武器の取り扱い、海上サバイバル、水泳、ダートムーアでの宿泊訓練等を行う。

・継続的なトレーニング

夜間と週末、年間12日間の有給の訓練がある。夜間訓練だけでなく、毎年最低3回の週末訓練も必須。

・持続トレーニング

通常、1年に12日間を1単位として行われる。最低限必要なトレーニングを修了すると、トレーニングに参加した各四半期の日数分の給与に加え、非課税のボーナスを受け取ることができる。

(2) 海兵隊予備役 Royal Marines Reserve

海兵隊予備役の最低基準は、週1回夜間訓練、一か月に1週末、一年に継続した2週間の訓練することでボーナスを受給できるが、精鋭隊のため、より厳しい基準での訓練をする決意が求められる。

(3) 海兵隊特殊部隊予備役 特殊船舶サービス

Special Boat Service (Reserve)

選考は年2回行われ、肉体的にも精神的にもかなり厳しい。

・選考入隊のための週末評価(Selection Induction Weekend:SIW)

SIWは、候補者が選考を受け、UKSF予備役への道を歩み始めるのにふさわしい水準にあることを確認するための、身体的および認知的な複数の総括的評価で構成されている。

- ・夜間週末訓練(Training Delivery:TD)
TD は、数ヶ月間にわたって夜間や週末に行われる訓練で、候補者は精神的・肉体的な強靭さを証明する必要があるため、徐々に過酷なコースとなる。ブリーフィング・アセスメント・コースと適性検査の厳しさに備えて、志願者を準備させるためのもの。
- ・適正評価(Briefing Assessment Course:BAC)
BAC は、英国特殊部隊予備隊での任務に必要な資質と基準について説明し、選抜経路を継続するための候補者の適性を初期評価する5日間の厳しい評価段階。
- ・適性段階
適性段階は3週間の段階であり、厳しい地形での耐久行軍を頂点とする、時間との戦いとなる一連の行軍で構成されている。適性の目的は2つあり、過酷な状況下で肉体的・精神的な回復力を証明することと、英国特殊部隊予備軍への志望動機を指導スタッフに理解してもらうこと。
- ・標準作業手順・戦術コース(Standard Operating Procedures and Tactics Course:SOPTAC)
適性に合格すると、申請者はさらに6ヶ月の訓練を受けることになる。特殊部隊の戦術、技術、手順に関する指導と評価を受ける集中的な期間で、軍事技術はSOPTACプログラムの主要な部分を形成している。肉体的・精神的なプレッシャーを受けながら、新しいスキルを吸収することに重点を置いている。SOPTACを終了すると、申請者はSBS(R)兵士としてバッジが与えられ、継続訓練に進むことができる。
- ・継続訓練
SOPTACコース終了後すぐに、兵士は3~4か月の動員期間に入り、通信コース、Survive, Escape, Resist and Evade :SERE(生存、脱出、抵抗、回避)コース、ドライバートレーニング、射撃パッケージ、医療トレーニング、さらに特定の役割トレーニングなどが含まれるが、これらに限定されるわけではない。終了後、兵士は動員され、作戦に配備される資格が与えられる。

3 空軍

英国空軍予備役 Royal Air Force Reserve

年間最低27日の訓練がある。内訳としては、より多くの経験を積むために2週間(15日間)と、通常飛行隊で行われる最低12日間の週末または休日の訓練を受ける必要がある。予備役には15日間の訓練期間中に海外で訓練を受ける機会もあるが、ほとんどの時間は近隣の空軍基地や駐屯地で過ごすことになる。予備役は週末にのみ訓練を行い、週の半ばに行われる夜間訓練はない。

第3部 フランス

概観

フランスの軍隊は、陸軍(Terre)、海軍(Marine)、空・宇宙軍(Air et Espace)、憲兵隊(Gendarmerie)からなり、主要支援部門として、衛生部(SSA; Service de santé des armées)、燃料部(SEO; Service de l'énergie opérationnelle)、装備総局(DGA; Direction générale de l'armement)、総務(SCA; Service du commissariat des armées)がある。これらを軍隊の第一級作戦予備隊と付属編隊、国家憲兵隊の作戦予備隊、国家警察の文民予備員で構成される国民衛兵(Garde Nationale)が補完する。

2020年12月31日時点で、国民衛兵を除く兵力は、フルタイム換算で全軍合わせて205,853人(うち陸軍114,818人、海軍34,825人、空・宇宙軍40,195人、憲兵隊2,599人)。

徴兵制は2001年に廃止され、現在は志願制(Service militaire volontaire)である。志願者は年間約5,000人。

フランス軍の人員内訳(2020年12月31日時点)

En ETPT	Officiers	Sous-officiers	Militaires du rang	Volontaires ¹	Total	%
Terre	14 309	38 528	61 491	490	114 818	55,8
Marine	4 689	22 847	7 147	142	34 825	16,9
Air et Espace	6 552	23 332	10 086	225	40 195	19,5
Gendarmerie ²	210	1 959	0	430	2 599	1,3
SSA	3 160	4 344	0	59	7 563	3,7
SEO	217	331	897	0	1 445	0,7
DGA	1 766	0	0	0	1 766	0,9
SCA	1 868	1	0	19	1 888	0,9
Autres services gestionnaires ³	716	38	0	0	754	0,3
Total	33 487	91 380	79 621	1 365	205 853	100,0
%	16,3	44,4	38,7	0,6	100,0	

(数字で見る国防 2021年版「Les chiffres clés de la Défense 2021」p.17)

URL : <https://www.defense.gouv.fr/portail/actualites2/decouvrez-les-chiffres-cles-de-la-defense-2021>

フランスでは、2015年11月パリでの同時多発テロ以降、日常生活が一変したと感じる人は多い。公共の場に足を踏み入れる際のセキュリティチェック、交通機関や公道での警官・軍人による警備体制の強化はもちろんのこと、学校や職場においても防災訓練に加えて、テロをはじめとする非常事態のための訓練が取り入れられた。テロの脅威に加えて、マクロン現政権への「黄色いベスト」抗議活動の激化(2018年～)や、多種多様なデモ、ストライキ、暴動が多発し、日常において危険性を帯びた状況が、ここ数年で増えている。さらに2020年のコロナウィルスによるパンデミック発生や、気候変動に起因した異常気象による山火事や洪水等、「非常事態」は、より身近なものとなっている。

軍や警察が、実際に通常の業務を行いながら、並行して非常事態に対応する人員を確保するには、予備役の担う役割はきわめて重要である。徴兵制が2001年に廃止され、現在は志願制となっているため、兵役義務は存在しないが、現実的にはバカロレア(大学入学資格試験)等の関係もあり、男女を問わず一定年齢に達すると予備役登録を行う必要がある。

また、高校1年時点で、学校から全生徒に対して皆国民役務(SNU; Service National Universel)についての案内がある。これはマクロン現大統領が2017年の大統領選で、国民としての義務感を育てるために公約として掲げた制度である。徴兵制の復活に代わって2019年より試験的に導入され、2023年を目処に義務化していく意向である。現時点ではSNUへの参加は任意で、軍の施設で2週間の集団生活を経験した後、公益性のある業務に2週間～1ヶ月間従事するというもので、その分野は国防や警察、消防に限定されていない。安全、保健、教育、福祉、文化、スポーツ、環境、市民生活

などに関わる NPO やボランティア団体での活動でもよい。SNU 修了により予備役登録が行われたものとみなされる。

予備役の募集にあたり、就業者については現職と、学生は学業との両立が求められる。無理なく両立が可能であり、予備役として軍に招集されることで不利益を被ることがないように法の整備が進められている。給与面の補償、家族との生活の妨げとならない勤務地の選択等の配慮がなされているほか、学資手当、免許証取得のための補助金といったインセンティブ措置が設けられている。同様に企業に対しても、予備役制度に協力する企業にはパートナー契約を締結することで優遇税制の対象となる等の措置も見られる。配属先、業務内容、処遇、昇級については、本人の能力や希望を考慮した上で個別に決定し、契約に盛り込まれる。これは上官との面談の上、軍の規定による評価項目に照らし合わせての取り決めとなる。本人の希望や研修の成果によっては、そのまま軍人として採用される可能性も開かれている。

軍務に就くこと、予備役として志願することは、おそらくフランスの若者にとって、数多くある職業のうちの一つの選択肢として認識されているようだ。今後 SNU が予定どおりすべての若年層に義務づけられていくことになれば、国民衛兵軍の兵力強化につながることも考えられる。

はじめに ～予備役に関する基礎情報～

・フランス国籍を有する者は16歳になると市民調査(ecensement citoyen)として実施される「国防・市民の日(JDC ; Journée de défense et de citoyenneté)」講習に参加することにより予備役登録が行われる。登録は義務ではないが、この登録証明書がないと、運転免許を取得することは出来ず、また、バカロレア(大学入学資格試験)およびその他の国家試験も受けることは出来ない。年間約80万人の若者がこの「国防・市民の日」講習に参加する。これらの登録者のうち、実際に志願して契約(ESR; engagement à servir dans la réserve)を結んだ者が正式に予備役となる。

2015年11月のパリ同時多発テロ、2016年ニースのトラック突入テロを受けて、陸海空軍および憲兵隊の予備兵力を増強するべくオランド大統領(当時)により2016年10月13日、第5番目の軍種として「国民衛兵(Garde Nationale)」が正式に創設された。予備役は、この国民衛兵に含まれる。

- ・国民衛兵の創設当時は、軍事省所轄予備役40,000人、および内務省所轄予備役45,000人の計85,000人を目標として掲げていたが、現在、77,000人近くが契約(ESR)を結び、部隊予備役となっている。
- ・予備役志願者は、特定の研修と訓練を受けた上で、兵力を一時的に補強するため配備される。召集は年間30日まで(必要に応じて60日まで引き上げられる)で、軍事的作戦の同時性を実現し、特に活動のピーク時の兵力強化を目的として、歩哨、警備のほか、国土の危機、悪天候、主要イベントのための支援、海軍基地の保護、重要拠点や機密性の高い施設の防御・保護を行う。また、専門性の高い分野(環境リスク、インフラ、通信、兵器等)で特殊技能を通じて貢献する。
- ・数字で見るフランス軍の予備役の特徴

- ① 国民衛兵の構成員である予備役の65%は一般市民であり、その内訳は、就業者44%、年金生活者19%、学生16%、失業者2%、その他19%。
- ② 年齢別にみると、30歳未満が38%、30～40歳が16%、40～50歳が19%、50歳超が27%。
- ③ 約20%が女性。
- ④ 予備役の年間の平均勤務日数32日。
- ⑤ 配属先は、憲兵隊40%、陸軍30%、警察9%、海軍8%、空軍8%、その他5%。
- ⑥ 軍所属の予備役の階級は、兵卒44%、下士官39%、将校17%。

QUI SONT LES RÉSERVISTES DE LA GARDE NATIONALE ? 2018



(以上2018年の数字、国民衛兵HPより)



・予備役の種類

予備役(Réserve militaire)は、軍に直接関わる実施部隊予備役(réserve opérationnelle)と武装要員ではなく、専門知識で軍に協力したり、軍隊と市民のつながりの維持に貢献するため社会に対して防衛意識の拡散浸透を担う市民予備役(réserve citoyenne)に大別される。現在のフランスにおいて政府が掲げる国防の概念は、軍事力だけでなく、経済、エネルギーや食糧の供給体制、教育など広範にわたり、「各人が自身の能力の範囲内で国防に貢献する」という考えが広く浸透している。国防に関するこうした国民の意識が、軍のオペレーションに直接携わらない「市民予備役」という形に表れている。

実施部隊予備役はさらに第1レベル(R01)と第2レベル(R02)の2種類に分類される。

部隊第1レベル(R01)は、27,600人以上の志願者(国家憲兵隊を除く)からなる。契約を交わして国民衛兵の構成員となる予備役であり、召集に応じる義務を負い、現役の軍人と同じ任務を求められる。このうち約1,800人が常勤である。

部隊第2レベル(R02)は、待機中の予備役で、現役終了後5年以内の退役軍人からなり、必要に応じて第1レベル(R01)に加えて召集される。

部隊予備役第1レベル/R01(憲兵隊を除く)総兵力の推移

2021年8月政府発表値

	将校 Officiers		下士官 Sous-officiers		兵卒 MdR		計 (憲兵隊を除く)	
	effectif	%	effectif	%	effectif	%	effectif	%
2003	9,516	40	9,971	41	4,682	19	24,169	100
2004	9,965	37	11,082	41	6,137	22	27,184	100
2005	NC	--	NC	--	NC	--	29,313	--
2006	10,179	33	11,486	37	9,111	30	30,776	100
2007	10,586	32	11,916	35	11,146	33	33,648	100
2008	10,646	31	11,706	35	11,401	34	33,753	100
2009	10,466	32	11,398	35	10,620	33	32,484	100
2010	10,517	32	11,207	35	10,880	33	32,604	100
2011	9,477	32	10,570	36	9,729	33	29,776	100
2012	8,815	32	9,576	35	9,127	33	27,518	100
2013	8,372	30	9,585	35	9,723	35	27,680	100
2014	8,482	31	9,563	34	9,740	35	27,785	100
2015	8,633	31	9,625	34	9,842	35	28,100	100
2016	9,046	28	10,402	32	12,855	40	32,303	100
2017	9,408	26	11,542	32	15,362	42	36,312	100
2018	10,100	26	12,710	33	15,719	41	38,529	100
2019	10,419	25	13,568	33	17,060	42	41,047	100
2020	10,379	25	13,900	34	16,883	41	41,162	100

第1章 予備役

第1節 予備役の概要(採用等の条件)

1 陸軍

- ・ 仏国籍
- ・ 17歳以上
- ・ 国民奉仕の義務(訳注:16歳以上の国民全員に課される公共奉仕義務で徴兵制度に代わるもの)を果たしていること(「国防・市民の日」に参加済み)
- ・ 市民権の剥奪、公共部門での就労の禁止、刑事罰、軍事司法法典に規定された条件下での解雇または階級剥奪の対象でないこと
- ・ 必要とされる技能(特に身体的技能)を有すること

※ 任用契約期間の情報は確認出来ず

2 海軍

- ・ 陸軍と同じ

3 空軍・宇宙軍

- ・ 仏国籍
- ・ 17歳以上*
- ・ 国民奉仕の義務(訳注:16歳以上の国民全員に課される公共奉仕義務で徴兵制度に代わるもの)を果たしていること(「国防・市民の日」(国防準備召集講習日)に参加済み)
- ・ 市民権の剥奪、公共部門での就労の禁止、刑事罰、軍事司法法典に規定された条件下での解雇または階級剥奪の対象でないこと
- ・ 必要とされる技能(特に身体的技能)を有すること

* ただし、契約制でなく空軍に志願を希望する場合は16歳から、居住地の市町村役所で予備役登録済みであることを条件として、空軍基地において訓練(PMIP-DN2:国防初期訓練)を受けることができ、のちに部隊予備役に志願する際に考慮される。

※ 任用契約期間の情報は確認出来ず

第2節 軍種別及び任務別の分類

1 陸軍

- ・ 実施部隊予備役(réserve opérationnelle)と市民予備役(réserve citoyenne)に大別される。
- ・ 実施部隊予備役はさらに第1レベル(R01)と第2レベル(R02)の2種類に分類される。
- ・ 部隊第1レベル(R01)は、契約により国民衛兵の構成員となる。
- ・ 部隊第2レベル(R02)の予備役(待機中)は、現役終了後5年以内の退役軍人からなり、召集に応じる義務を負う。

2 海軍

- ・ 実施部隊予備役(réserve opérationnelle)と市民予備役(réserve

citoyenne)に大別される。

- ① 部隊及び本部に統合された実施部隊予備役 (réserve opérationnelle)は、軍に軍事的補完を提供することで特定の任務の遂行に貢献する。
 - ② 市民予備役 (réserve citoyenne)は、社会に防衛精神を育て維持し、社会と軍をつなぐ役割を担う。
 - ・ 実施部隊予備役はさらに第1レベル(R01)と第2レベル(R02;)の2種類に分類される。
 - ① 第1レベル(R01): 契約制の志願者で軍の兵力を補完
 - ② 第2レベル(R02): 現役終了後5年以内の退役軍人
 - ・ 海軍の予備役は、4つの主要な役割を担う。
 - ① 軍の任務を拡大
 - ② 危機的状況への介入
 - ③ 希少な専門分野における識者の貢献
 - ④ 防衛への市民参加の一環として市民社会を啓発
- 具体的には、
- 予備役は、現役兵士と同じ能力、同じ条件でさまざまな運用任務を遂行し、責任を担い、
 - 軍隊の戦力を拡大し、国防と安全に貢献するとともに、
 - 軍における経験で専門技能を向上させる
- ことが求められる。
- ・ 実施部隊予備役は、活動部隊に個別に割り当てられ、契約業務に従事する。海軍が十分に擁していない専門知識を持つ人員や、活動のピーク時に補強のために対処するための人員となる。また、市民予備役は、海軍の拠点外との連携の役割を担い、国民に海事問題を認識させ、人員の採用と啓発を支援する。

3 空軍・宇宙軍

- ・ 空軍の実施部隊予備役は第1レベル(R01)と第2レベル(R02)の2種類からなる。部隊第1レベル(R01)は、軍事経験の有無にかかわらず、民間部門からの志願者および元現役軍人からなる。
- ・ 予備役は軍の兵力を強化することを目的として、4つのカテゴリーの人員を募集する。
 - ① 退役軍人
 - ② 民間からの志願者
 - ③ 階級を限定した募集
 - ④ 専門技能を有する者
- ・ 主な任務としては、下記があげられる。
 - ① 研修・訓練を受ける
 - ② 国土の保護、国外で行われる作戦で軍を一時的に支援・補強する
 - ③ 国防に関する啓発活動を行う
 - ④ 自然災害等の救助活動
 - ⑤ 民間との協働作用により軍事活動を促進することを目的とした事業への参加
 - ⑥ 企業との連携対応
- ・ 部隊予備役の契約は1年から5年の更新可能な期間で締結される。

第3節 予備役総兵力

1 陸軍

- ・陸軍の予備役：25,764人
- ・うち将校(officier)4,870人、下士官(sous-officier)6,635人、兵卒(militaire du rang)14,259人(2020年)
- ・予備役全体では41,162人(2020年、憲兵隊を除く)
- ※ 推移については軍種別数字なし

2 海軍

- ・海軍の予備役：5,377人
- ・うち将校(officier)1,668人、下士官(sous-officier)2,773人、兵卒(militaire du rang)936人(2020年)
- ・予備役全体では41,162人(2020年、憲兵隊を除く)
- ※ 推移については軍種別数字なし

3 空軍・宇宙軍

- ・空・宇宙軍の予備役：5,327人
- ・うち将校(officier)1,410人、下士官(sous-officier)2,328人、兵卒(militaire du rang)1,589人(2020年)
- ・予備役全体では41,162人(2020年、憲兵隊を除く)
- ※ 推移については軍種別数字なし

フランス軍の予備役の人員配備(2020年12月31日時点)

Effectifs physiques	Officiers	Sous-officiers	Militaires du rang	Total	Moyenne (jours/homme)
Terre	4 870	6 635	14 259	25 764	33,1
Marine	1 668	2 773	936	5 377	32,4
Air et Espace	1 410	2 328	1 589	5 327	33,4
SSA	1 842	2 095	15	3 952	24,8
SCA	462	0	0	462	31,3
SEO	45	69	84	198	29,0
DGA	63	0	0	63	16,7
SID	19	0	0	19	33,0
Total	10 379	13 900	16 883	41 162	32,2
%	25,2	33,8	41,0	100,0	

第4節 予備役総兵力を向上させるための施策

全軍共通

- ・ 人員の確保と定着のために、学業手当の支給、運転免許取得支援、契約更新者を対象とした賞与が給付される。
- ・ 2017年以降、予備役の人員数の増員および確保のために3つのインセンティブ措置が実施されている。
 - 特別学資手当：100ユーロ／月(約12,500円)
 - 運転免許証(普通免許)取得支援：1,000ユーロ(約125,000円)
 - 第1回契約更新以降、賞与250ユーロ／年(約31,250円)

第2章 予備役将官等

第1節 予備役将官の有無

1 陸軍

- ・予備役は、希望する場合は学歴により下士官、将校への昇任志願が可能である。
 - 志願者→兵卒
 - バカロレア(大学入学資格)取得者→下士官(sous-officier)に志願可能
 - 学士号水準(バカロレア+2年)の者→将校(officier)に志願可能
- ・学歴や教育の水準に関係なく、陸軍の部隊予備役に志願するいかなる者も兵卒(militaire du rang)として勤務する。バカロレア(大学入学資格)取得者および学士号水準(バカロレア+2年)のある者は、最初の任務を兵卒から開始して、必要な資質を有する場合には、その後、それぞれ下士官(sous-officier)、将校(officier)のポストへ採用可能となる。

2 海軍

- ・将校初期訓練コースを履修し、合格した場合、海軍下士官(sous-officier)または海軍士官(officier marinier)に任命される場合がある。
- ・軍将校初期訓練コース受講を認められた予備役は、軍事相(国家憲兵隊の予備役の場合は内務相)の決定により、士官候補生に任命される場合があり、さらに海軍下士官(sous-officier)または海軍士官(officier marinier)の初期訓練コースを完了すると、海軍下士官または海軍士官の第一階級に任命されることがある。

3 空軍・宇宙軍

- ・兵卒(militaire de rang)：研修の受講と成績、経験年数、契約に基づいた行われた累積活動時間数により昇級。
- ・下士官(sous-officier)：研修の受講と成績、経験年数、契約に基づいた行われた累積活動時間数に基づき、政令により任命される。
- ・将官(officier)：研修の受講と成績、経験年数、契約に基づいた行われた累積活動時間数に基づき、所属に応じて求められる年齢と年数を考慮して政令により任命される。
- ・昇級は、軍事省人事部の設定するガイドラインに従って、階級内での経験年数、年齢、評価と成績、過去5年間の累積活動時間数に基づいて決定される。

第2節 軍種別の予備役の階級別役割、人数

※ 階級別の役割は確認出来ず

1 陸軍

・将校(officier)4,870人、下士官(sous-officier)6,635人、兵卒(militaire du rang)14,259人(2020年)

2 海軍

・将校(officier)1,668人、下士官(sous-officier)2,773人、兵卒(militaire du rang)936人(2020年)

3 空軍・宇宙軍

・将校(officier)1,410人、下士官(sous-officier)2,328人、兵卒(militaire du rang)1,589人(2020年)

第3節 招集された場合の運用例

全軍共通

- ・活動開始1か月前に書面による通知が送付される。
- ・召集により自宅～勤務地間往復のための臨時出張手当が得られる。
- ・部隊予備役として活動を行う場合、現役の軍人と同じ条件(給与と備品)での勤務となる。
- ・給与の額は、階級と資格に応じて決まる。給与は非課税である。
- ・部隊予備役が勤務中または勤務の際に損害を被った場合、付随する損害補償制度から給付を受ける。
- ・志願勤務期間中、同じ業務に就く現役兵士と同じ装備の提供を受ける。

第4節 招集されていない場合の勤務形態

全軍共通

2017年以降、予備役の人員数の増員および確保のために3つのインセンティブ措置が実施されている。

- 特別学資手当：100ユーロ/月(約12,500円)
- 運転免許証(普通免許)取得支援：1,000ユーロ(約125,000円)
- 第1回契約更新以降、賞与250ユーロ/年(約31,250円)

また、予備役に召集される従業員・職員を雇用する企業、組織、行政機関は、軍事省と、召集される従業員の給与を国が全体または部分的に負担する予備役政策支援合意を結ぶことができる。

(1) 学生の場合

教育機関は、学生が予備役として志願することで学業上の不利益が生じないように配慮しなければならない。国防法典第L4211-7条により、「公

立／私立の別なくいかなる教育機関も、部隊予備役への志願や召集・再召集の義務に応じることに起因する欠席が原因で、学生や研修生が履修するカリキュラムの完了に不利な措置を講じることがあってはならない」と規定されている。

(2) 就業者の場合

従業員が予備役として志願する場合、雇用主は年に5日間の休暇を与えなければならない。従業員は予備役期間が始まる1ヶ月前(危機的状況の場合は15日前に短縮し、予備役に充てる期間は5日間から10日間に延長)に雇用主に通知する。予備役期間が5日間を上回る場合は雇用主の同意を必要とする。

民間企業の場合、予備役期間中の労働契約は一旦中断されるが、この期間は、勤続期間、昇進、有給休暇、福利厚生面で実際に就業していた場合と同様の利益を従業員に付与するものとする(国防法典第L4211-7条)。

予備役として動員される従業員を雇用する企業は、国が受益者となるメセナ事業の「現物寄付」とみなされ、租税法典第238-2条に鑑み優遇税制の対象となる。当該企業の売上高の5%を上限として相当する給与の60%が法人税から控除される。

(3) 公務員の場合

予備役期間が1年に30日を上回る場合は出向扱いとなる。

第3章 招集

第1節 予備役の動員名称、命令権者、動員目的、規模、招集される対象、期間など

※ 動員名称、規模は、確認出来ず

1 陸軍

(1) 任務/招集対象

- ・国土内での住民保護活動(歩哨、警戒・監視活動)への参加
- ・軍事施設の保護
- ・公共サービスへの支援
- ・自然災害、産業災害、技術災害が発生した場合の住民の救援活動
- ・専門知識を活かして参謀本部または外部業務への支援(サイバー防衛、法務、財務、広報など)

(2) 期間：30日(必要に応じて60日まで延長される)

(3) 処遇：「招集された場合の運用例」の項目に同じ

(4) 命令権者：軍事相(国防法典第L4221-4-1条、同第R4221-10-2条)

2 海軍

(1) 任務/招集対象

海軍における予備役は、国内外の海軍の活動や作戦にあたっての支援のために召集される。

- ・危機的状況
 - 大規模なオペレーションの支援にあたる。
 - 保安体制の強化、特に機密性の高い事項の保護
 - 海上保安の強化(沿岸監視活動及び非常時の海域警備を含む)
 - 参謀本部での補佐
 - ロジスティクスなどの専門的支援を持続的に強化
 - 組織またはオペレーション施設の機能の継続性を確保
- ・危機的状況以外
 - 活動の過負荷の軽減(設備の保護、夏季における海岸の監視など)
 - 特定の技能(弁護士、語学、通信または新技術の専門家など)の提供
 - オペレーションスタッフ交代要員
 - 基地の警備
 - 人事・総務(採用および研修)
 - 輸出支援

(2) 期間：30日(必要に応じて60日まで延長される)

(3) 処遇：「招集された場合の運用例」の項目に同じ

(4) 命令権者：軍事相(国防法典第L4221-4-1条、同第R4221-10-2条)

3 空軍・宇宙軍

(1) 任務/招集対象

- ・領空、戦闘システム、軍および民間の拠点の恒久的な保護活動

- ・ 参謀本部と支援部門に専門知識を提供
 - ・ 民間の緊急事態および救援計画への参加
- (2) 期間：30日(必要に応じて60日まで延長される)
- (3) 処遇：「招集された場合の運用例」の項目に同じ
- (4) 命令権者：軍事相(国防法典第L4221-4-1条、同第R4221-10-2条)

第2節 最近の招集事例

1 陸軍

新型コロナウイルス感染症への対応支援

軍の作戦「レジリエンス(Résilience)」により国の新型コロナウイルス対応を支援。2020年3月25日に開始された(動員された予備役の人員数は不明)。

軍事省は通常の任務と並行してパンデミック対策を展開。軍の病院施設(HIA)7つとリヨン・ブロン軍事保健学校、および3つの軍接種センター(PMV)を設置。ワクチンの兵站および施設全体を管理。

11センターで25万件を上回る接種を実施。(2021年10月時点では132万4,910件)

仏領ギアナなど感染が深刻な地域で、軍はレジリエンス作戦の一環として医療および移送を行う。

- ・ 20,668人のCOVID-19重症患者を8つの軍の病院施設(HIA)受け入れ
- ・ および2,015人を軍の保健部署の蘇生施設(EMR-SSA)への受け入れ
- ・ 患者の移送(移送全体の20%を軍が実施)
- ・ 物資の輸送(連帯保健省に500万枚のマスクを配送)
- ・ 医療物資保管施設の警備
- ・ 蘇生処置移動モジュール：フランス領ギアナで軍事蘇生モジュール(MMR)を展開。50人以上の保健部門職員と陸軍の職員および蘇生対応病床10台分の医療機器を配備

2 海軍

テロ対策歩哨「センチネル(Sentinelle)作戦」

2015年1月のテロ攻撃を受けて、国民の保護を目的として歩哨を増員し、「センチネル(Sentinelle)作戦」が開始された。フランス全国で1万人に上る軍の人員を危険性の高い場所に配置し、警察の治安部隊と連携した。(動員された予備役の人員数は不明。国民衛兵HPでは海軍の第3海兵歩兵連帯に配備された予備役によるラ・ロシェルでの歩哨の状況が動画で紹介されている。)

3 空軍・宇宙軍

新型コロナウイルス感染症への対応支援オペレーション「レジリエンス(Résilience)」

軍の緊急事態対応「レジリエンス(Résilience)」により国の新型コロナウイルス対応を支援。活動は2020年3月25日に開始された。空

軍は特に仏領ギアナなど感染が深刻な地域で、主に物資の輸送、患者の移送の面から支援を行った(動員された予備役の人員数は不明)。

- ・患者の移送(移送全体の20%を軍が実施)
- ・物資の輸送
- ・蘇生処置移動モジュール：フランス領ギアナで軍事蘇生モジュール(MMR)を展開
- ・患者の輸送：重症患者の移送を仏領ギアナ駐屯の空軍(FAG)が担当

第4章 予備役に対する平素の訓練等

1 陸軍

(1) 初期軍事訓練(FMIR)

予備役介入ユニット(UIR)または予備役特殊ユニット(USR)内のポストに就くために必要とされる基本的なノウハウを習得するための訓練で、2018年まで戦闘射撃(IST-C)も含め13日間にわたって行われていたが、2018年2月以降、訓練プログラムは予備役契約締結の前後の2部に分けられている。

- ・「予備役準備」(PMR ; préparation militaire réserve)モジュールと呼ばれる第1回訓練は、契約前、11日間にわたって射撃や戦闘の基礎訓練が行われる。予備役志願者に義務づけられる。
- ・「予備役補足訓練」(FCR ; formation complémentaire du réserviste)は契約後に実施される。訓練期間は2.5日で、戦闘射撃訓練が行われる。

(2) 招集に備えての訓練

実際の現場を想定した11日間の訓練で、陸軍の一般的な任務、戦闘における救援、接近格闘術、射撃訓練等を行う。

2 海軍

(1) 初期軍事訓練(FMIR)

予備役として志願する前に訓練センターで海軍準備(PMM)研修プログラムを履修し、合格者は身体検査を受けた上で3つの中から専門分野を選択する。

- ・艦艇監視員(GUETF) : 海軍学校での訓練(2週間)
- ・フュージャリア海兵隊(FUSIL) : フュージャリア海兵隊学校での訓練(2週間)
- ・消防士(MARPO) : 海軍学校での訓練(2週間)

(2) 招集に備えての訓練

初期軍事訓練後、年間30日以上予備役として勤務しなければならない、部隊に配属される。

3 空軍・宇宙軍

2回の訓練(無給)に自主的に参加する。

1回目は7日間、2回目は5日間で、訓練終了後、合格者は予備役の初期軍事訓練(FMIR)に志願することができる。これに合格した場合、予備役として1年間勤務する(契約締結日に17歳以上であることを条件とする)。その後予備役として20日間の有給の追加訓練と軍ユニットでの勤務を行う。

別表：米国軍隊の予備役の動員名称、命令権者、動員目的、規模、招集される対象、期間など

動員名称(通称) 対象軍種類	大統領予備役招集 (PRC) Presidential Reserve Call-ups (PRC)	部分動員 Partial Mobilization	総動員 Full Mobilization	予備役緊急動員 Reserve Emergency Call-up (2011)1	予備役部隊義勇兵 RC Volunteers	15日令 15-day Statue	予備役事前計画動員 Reserve Preplanned Call- up (2011)2	国家的災害・治安維 持州兵動員 Full-Time State Active Duty	州独自州兵動員 Pure State Duty
連邦陸軍予備役	●	●	●	●	●	●	●	×	×
陸軍州兵	●(連邦軍管轄下)	●(連邦軍管轄下)	●(連邦軍管轄下)	×	●(知事の同意が 必要)	●(知事の同意が 必要)	●(連邦軍管轄下)	●(州管轄下)	●(州管轄下)
連邦海軍	●	●	●	●	●	●	●	×	×
海兵隊予備役	●	●	●	●	●	●	●	×	×
沿岸警備隊	●	●	●	●	●	●	●	×	×
連邦空軍予備役	●	●	●	●	●	●	●	×	×
空軍州兵	●(連邦軍管轄下)	●(連邦軍管轄下)	●(連邦軍管轄下)	×	●(知事の同意が 必要)	●(知事の同意が 必要)	●(連邦軍管轄下)	●(州管轄下)	●(州管轄下)
命令権者：AUTHORITY	10USC § 12304 大統領：24時間 以内に連邦議会に 通知	10USC § 12302 大統領により全 軍、また各軍の長 官が管轄軍の予備 役を動員	10USC § 12301 (a) 連邦議会	10USC § 12304 (a) 国防長官 SecDef (知事により連邦 援助要請があった 場合)	10USC § 12301 (d) 管轄軍長官(州兵 の招集には知事の 同意が必要)	10USC § 12301 (b) 管轄軍長官(州兵 の招集には知事の 同意が必要)	10USC § 12304 (b) 管轄軍長官	32USC 各州知事(大統 領、国防長官 SecDefの許可が必 要)	各州法 各州知事
動員目的	任務遂行のための 人員増員	国家緊急時	戦時または国家緊 急時	大規模災害時・緊 急時	指定なし	年次訓練・作戦任 務	事前に計画された あるいは定期的な 任務のための人員 増強計画	大規模自然災害等	市民支援や警備等 知事の権限により 決定
非自発的招集可能数	200,000 IRR予備役兵30,000 人を含む	1,000,000	上限なし	n/a	指定なし	n/a	60,000 州兵・予備役含む	州兵	州兵
招集対象の予備役区分	即応予備兵 (SELRES, IRR, SR) (部隊, IMAs, AGRs, Special Category IRR)	即応予備兵 (部隊, IMAs, AGRs + IRR/ING)	総合戦力 (AC+ RC) (部隊, IMAs, AGRs, IRR/ING + Retires, 待機予備 役)	予備役(連邦陸 軍、連邦海軍、海 兵隊、連邦空軍) 部隊, 個人	全予備役 各予備役の自発志 願制	即応予備兵 州兵の招集は知事 の許可が必要	即応予備兵 (SR)	州兵	州兵
招集期間	365日	24か月	戦時または国家緊 急事態中+6か月 間	120日	指定なし	15日間	365日	30日以降は連邦軍 と同等手当	通常30日

[補足] n/a: not applicable 該当なし, AC: Active Component 現役部隊, RC: Reserve Component 予備役, SELRES: Selected Reserve 選抜予備役, IRR: Individual Ready Reserve 個人即応予備役, SR: Standby Reserve 待機予備役, IMA: Individual Mobilization Augmentee 個人動員増強, AGR: Active Guard and Reserve 正規州兵/予備役, ING: Inactive National Guard 不稼働警備隊

別表：米国軍隊の分類別予備役数の推移

(1) 連邦陸軍予備役 Army Reserve

※ 2021年は1～10月の平均

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
OF-10 大將	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OF-9 中將	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OF-8 少將	37	36	39	35	36	33	32	34	37	37	33
OF-7 准將	73	69	67	73	76	78	79	85	85	86	85
OF-6 大佐	1,718	1,743	1,774	1,851	1,836	1,831	1,866	1,874	1,858	1,856	1,825
OF-5 中佐	5,831	5,917	5,726	5,535	5,388	5,147	4,995	4,857	4,977	5,311	5,455
OF-4 少佐	7,337	6,638	6,615	6,740	6,840	7,265	7,751	8,834	9,448	9,998	10,132
OF-3 大尉	9,869	10,241	10,313	10,416	10,844	10,935	11,431	10,939	10,884	10,641	10,754
OF-2 中尉	4,794	4,865	4,740	4,810	5,336	5,931	5,972	5,551	5,263	5,177	5,176
OF-1 少尉	2,587	2,574	2,716	2,582	2,604	2,529	2,274	2,141	2,193	2,274	2,468
W-5上級准尉5	94	90	88	93	101	108	108	114	111	109	106
W-4上級准尉4	588	603	622	596	539	517	528	538	571	644	635
W-3上級准尉3	586	565	575	676	837	975	1,110	1,211	1,246	1,246	1,129
W-2上級准尉2	1,409	1,447	1,500	1,501	1,427	1,359	1,257	1,196	1,159	1,111	1,121
W-1 准尉1	544	519	467	402	407	428	464	466	463	475	580
士官階級不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52
E-9 上級曹長	1,520	1,496	1,474	1,527	1,571	1,564	1,527	1,479	1,448	1,403	1,352
E-8 曹長／先任曹長	6,175	6,290	5,853	5,450	5,584	5,641	5,550	5,462	5,319	4,971	4,830
E-7 一等軍曹	15,093	15,552	15,654	15,626	15,207	14,999	14,234	13,673	13,427	14,096	14,253
E-6 二等軍曹	22,234	21,084	20,168	19,733	19,903	20,014	19,496	18,859	18,874	20,609	20,908
E-5 三等軍曹	28,452	27,766	27,104	27,213	29,654	33,318	33,241	32,080	31,466	27,696	26,250
E-4 伍長	59,178	59,555	60,292	58,564	57,462	54,823	54,006	52,279	52,566	51,004	50,543
E-3 上等兵	21,331	21,208	19,388	16,962	17,262	16,889	15,879	14,850	14,910	15,691	15,929
E-2 一等兵	7,947	7,444	6,809	7,426	7,759	7,405	6,914	6,723	6,762	6,976	5,845
E-1 二等兵	7,601	6,893	7,610	8,351	7,650	7,179	7,569	6,439	7,464	8,055	6,674
階級不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	204,995	202,598	199,593	196,163	198,322	198,969	196,282	189,683	190,532	189,465	186,136

(2) 陸軍州兵 Army National Guard

※ 2021年は1～10月の平均

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
OF-10 大將	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1
OF-9 中將	0	0	1	0	1	2	3	3	2	2	1
OF-8 少將	60	61	65	64	63	63	67	76	75	76	84
OF-7 准將	167	162	154	152	150	166	171	167	170	180	179
OF-6 大佐	1,468	1,475	1,479	1,508	1,460	1,417	1,370	1,326	1,336	1,333	1,323
OF-5 中佐	3,933	3,894	3,756	3,707	3,629	3,543	3,544	3,551	3,597	3,691	3,672
OF-4 少佐	6,346	6,344	6,592	6,678	6,571	6,551	6,598	6,752	7,055	7,194	7,195
OF-3 大尉	9,924	10,190	10,242	10,497	10,695	10,546	10,525	10,578	10,725	10,670	10,962
OF-2 中尉	7,735	7,866	8,142	8,622	9,098	9,194	8,609	8,053	7,970	7,747	7,543
OF-1 少尉	5,534	5,445	5,566	5,265	5,023	5,236	5,845	5,859	5,490	5,785	6,324
W-5上級准尉5	367	374	382	378	379	391	396	390	433	447	439
W-4上級准尉4	1,383	1,374	1,428	1,486	1,452	1,406	1,356	1,341	1,455	1,589	1,628
W-3上級准尉3	1,704	1,721	1,819	1,985	2,062	2,133	2,280	2,386	2,507	2,559	2,701
W-2上級准尉2	3,232	3,427	3,612	3,567	3,548	3,476	3,247	3,085	2,943	2,729	2,541
W-1 准尉1	1,545	1,357	1,150	1,107	1,133	1,175	1,312	1,410	1,356	1,431	1,559
士官階級不明	3	2	0	0	1	1	1	0	1	1	0
E-9 上級曹長	2,165	2,126	2,107	2,084	2,067	2,061	2,051	2,026	2,000	2,017	2,018
E-8 曹長／先任曹長	7,718	7,732	7,702	7,605	7,470	7,295	7,225	7,253	7,131	6,958	6,940
E-7 一等軍曹	22,286	22,406	22,523	22,234	21,812	20,660	19,081	18,071	18,303	18,662	19,980
E-6 二等軍曹	40,059	40,324	40,381	40,401	39,693	38,532	36,276	33,921	32,321	31,254	33,938
E-5 三等軍曹	65,503	64,541	64,989	64,901	64,178	63,403	61,624	59,827	58,962	58,333	55,661
E-4 伍長	102,257	100,704	96,217	92,179	91,409	97,176	102,385	100,690	97,039	99,021	105,411
E-3 上等兵	41,946	41,539	40,343	38,937	39,873	37,859	35,435	34,743	36,008	40,140	40,571
E-2 一等兵	18,466	18,947	19,451	21,930	21,476	19,158	17,989	18,315	19,763	19,882	15,781
E-1 二等兵	15,478	15,559	17,947	18,676	15,872	13,282	13,297	14,154	15,641	12,273	10,031
階級不明	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	359,274	357,569	356,050	353,963	349,115	344,726	340,686	333,977	332,282	333,973	336,483

(3) 連邦海軍予備役 Navy Reserve

※ 2021年は1～10月の平均

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
0-10 大将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0-9 中将	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
0-8 上級少将	22	20	16	15	16	16	16	17	18	17	14
0-7 下級少将	35	36	33	31	28	28	33	36	35	33	33
0-6 大佐	1,510	1,347	1,283	1,261	1,247	1,229	1,228	1,203	1,209	1,230	1,228
0-5 中佐	3,432	3,248	3,152	3,150	3,141	3,161	3,184	3,228	3,298	3,345	3,341
0-4 少佐	4,308	4,242	4,329	4,530	4,607	4,718	4,840	4,921	5,090	5,241	5,212
0-3 大尉	3,082	3,336	3,555	3,798	4,014	3,963	3,808	3,598	3,484	3,295	3,207
0-2 中尉	943	948	1,082	988	824	705	646	599	595	564	566
0-1 少尉	827	801	665	604	514	413	410	385	458	503	501
W-5上級兵曹長5	0	0	1	1	2	2	2	2	4	5	7
W-4上級兵曹長4	28	21	12	8	14	14	18	25	27	25	26
W-3上級兵曹長3	40	34	30	25	36	37	32	31	30	30	34
W-2上級兵曹長2	43	47	48	40	34	31	33	35	37	47	55
W-1兵曹長1	0	0	0	14	0	3	5	0	0	0	0
士官階級不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E-9 最上級上等兵曹	375	376	363	357	362	359	350	343	350	349	372
E-8上級上等兵曹	1,006	992	946	938	923	901	957	1,004	1,032	1,038	1,039
E-7上等兵曹	3,882	3,928	3,836	3,737	3,691	3,678	3,806	3,740	3,737	3,724	3,876
E-6 一等兵曹	12,080	12,064	11,560	10,988	10,465	10,342	10,514	10,934	11,869	12,428	12,380
E-5 二等兵曹	16,601	16,611	15,495	14,014	13,349	13,620	13,825	14,640	15,351	15,541	15,040
E-4 三等兵曹	8,861	8,907	9,049	8,299	7,592	7,861	7,907	7,618	7,545	7,152	6,202
E-3 上等水兵	4,438	4,597	5,105	5,012	4,746	4,330	3,915	3,668	3,414	3,076	3,103
E-2 一等水兵	1,705	1,513	1,419	1,336	1,236	1,330	1,402	1,104	972	897	896
E-1二等水兵	1,160	1,054	922	835	796	960	930	703	725	658	682
階級不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総数	64,379	64,123	62,901	59,980	57,636	57,699	57,861	57,835	59,277	59,200	57,815

(4) 海兵隊予備役 Marine Corps Reserve

※ 2021年は1～10月の平均

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
0-10 大将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0-9 中将	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1
0-8 上級少将	4	5	5	6	5	4	4	5	5	5	5
0-7 下級少将	6	6	7	6	6	7	7	6	6	6	7
0-6 大佐	323	318	325	320	314	295	289	293	283	275	266
0-5 中佐	1,013	988	943	848	812	770	741	703	688	704	711
0-4 少佐	1,080	1,093	1,078	1,072	1,145	1,211	1,333	1,555	1,702	1,787	1,784
0-3 大尉	710	790	995	1,183	1,180	1,241	1,231	1,059	978	961	916
0-2 中尉	143	178	224	234	253	277	302	336	293	248	270
0-1 少尉	225	235	266	295	268	284	257	233	274	267	248
W-5上級兵曹長5	12	14	14	12	11	15	15	17	18	20	19
W-4上級兵曹長4	47	43	40	46	44	36	34	44	47	45	47
W-3上級兵曹長3	86	87	82	75	72	73	85	81	74	69	61
W-2上級兵曹長2	140	136	124	110	105	90	75	72	77	72	75
W-1兵曹長1	15	24	31	26	20	23	43	36	27	42	53
士官階級不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E-9 最上級上等兵曹	196	188	174	174	173	174	174	167	161	150	139
E-8上級上等兵曹	436	426	474	519	531	521	502	468	487	494	490
E-7上等兵曹	1,214	1,182	1,134	1,097	1,067	1,056	1,088	1,104	1,134	1,127	1,100
E-6 一等兵曹	1,970	1,901	1,897	1,989	2,211	2,091	1,988	1,912	1,881	1,961	1,870
E-5 二等兵曹	5,263	5,352	5,489	4,692	4,459	4,543	4,670	4,554	4,654	4,535	4,128
E-4 三等兵曹	6,636	6,450	7,010	6,842	6,339	6,555	6,243	6,264	6,278	6,251	6,246
E-3 上等水兵	14,811	15,040	14,051	14,773	14,818	14,279	14,645	14,599	14,311	14,087	13,161
E-2 一等水兵	4,079	3,734	3,782	3,618	3,482	3,453	3,423	3,384	3,427	2,814	2,388
E-1二等水兵	1,615	1,676	1,696	1,566	1,458	1,478	1,465	1,469	1,523	858	1,572
階級不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	40,020	39,865	39,838	39,502	38,772	38,477	38,615	38,361	38,330	36,774	35,557

(5) 沿岸警備隊 Coast Guard

※ 2021年は1～9月の平均

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
0-10 大将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0-9 中将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0-8 上級少将	1	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1
0-7 下級少将	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1
0-6 大佐	41	39	42	44	40	33	35	37	36	36	40
0-5 中佐	201	193	187	173	152	146	145	146	148	150	145
0-4 少佐	254	261	275	299	299	303	307	308	301	293	271
0-3 大尉	469	478	481	446	420	390	351	315	294	280	284
0-2 中尉	115	117	101	96	79	78	64	72	79	92	97
0-1 少尉	68	57	56	41	58	43	49	51	51	50	73
W-5上級兵曹長5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-4上級兵曹長4	35	31	27	22	20	23	25	35	35	32	31
W-3上級兵曹長3	33	40	48	52	55	52	43	43	38	31	24
W-2上級兵曹長2	84	82	70	62	57	51	40	31	28	43	52
W-1兵曹長1	0	0	0	0	0	4	7	0	0	0	0
士官階級不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E-9 最上級上等兵曹	92	89	80	72	71	72	69	71	67	64	62
E-8上級上等兵曹	142	145	145	126	115	122	125	127	132	129	124
E-7上等兵曹	675	692	695	693	687	681	663	676	707	710	704
E-6 一等兵曹	1,122	1,164	1,254	1,321	1,307	1,455	1,493	1,524	1,576	1,626	1,619
E-5 二等兵曹	1,729	1,762	1,779	1,760	1,727	1,689	1,677	1,631	1,586	1,566	1,579
E-4 三等兵曹	2,233	2,227	2,274	2,205	2,010	1,395	1,088	946	911	911	887
E-3 上等水兵	568	498	441	271	163	92	99	104	145	228	227
E-2 一等水兵	25	8	2	4	10	2	1	0	0	0	5
E-1二等水兵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
階級不明	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
総数	7,884	7,889	7,961	7,690	7,273	6,631	6,285	6,118	6,135	6,243	6,228

(6) 連邦空軍予備役 Air Force Reserve

※ 2021年は1～8月の平均

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
0-10 大将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0-9 中将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0-8 少将	24	27	28	26	25	26	26	26	28	27	23
0-7 准将	52	56	58	58	55	58	55	54	55	53	57
0-6 大佐	1,074	1,118	1,132	1,099	1,079	1,056	1,020	1,003	1,001	1,007	1,018
0-5 中佐	4,646	4,424	4,262	4,129	3,971	3,906	3,833	3,923	4,084	4,312	4,471
0-4 少佐	4,639	4,762	4,737	4,745	4,970	5,103	5,082	4,933	4,914	4,986	4,994
0-3 大尉	3,278	3,178	2,969	2,900	2,884	2,814	2,688	2,794	2,876	2,909	2,989
0-2 中尉	426	478	526	524	514	566	616	546	554	587	652
0-1 少尉	385	375	339	365	385	336	329	351	448	589	638
W-5上級兵曹長5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-4上級兵曹長4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-3上級兵曹長3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-2上級兵曹長2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-1兵曹長1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
士官階級不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E-9 最先任上級曹長	1,024	1,019	1,019	988	959	955	958	955	994	1,035	1,072
E-8 前任／上級兵曹	3,216	3,182	3,118	3,069	2,935	2,912	2,886	2,849	2,856	2,918	2,985
E-7 一等軍曹／曹長	9,018	8,932	8,734	8,539	8,435	8,336	8,252	8,165	8,094	8,256	9,001
E-6 二等軍曹	12,942	12,793	12,563	12,330	12,170	12,113	12,218	12,790	13,373	13,758	13,209
E-5 三等軍曹	11,509	10,709	9,625	9,445	10,100	11,476	12,332	12,507	12,027	11,035	11,359
E-4 兵長	11,694	12,839	14,567	15,754	15,505	13,985	12,694	11,744	11,628	12,131	12,076
E-3 上等兵	4,265	4,432	4,110	3,623	3,384	3,343	3,600	3,830	4,039	3,896	3,814
E-2 一等兵	1,270	1,348	1,265	1,112	841	729	699	667	810	789	720
E-1 二等兵	1,752	1,708	1,431	1,105	751	905	1,102	1,319	1,402	1,105	1,163
階級不明	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	71,211	71,380	70,492	69,811	68,963	68,620	68,389	68,455	69,183	69,393	70,240

(7) 空軍州兵 Air National Guard

※ 2021年は1～12月の平均

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
0-10 大将	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0
0-9 中将	2	3	4	4	4	3	2	2	3	4	4
0-8 少将	44	33	32	39	44	42	40	43	40	45	49
0-7 准将	118	117	113	112	106	129	129	134	134	134	142
0-6 大佐	996	987	1,000	1,013	1,000	983	1,026	1,033	1,037	1,046	1,078
0-5 中佐	4,145	4,141	4,045	4,003	3,876	3,909	3,985	3,970	4,205	4,334	4,392
0-4 少佐	3,745	3,889	4,024	4,152	4,260	4,304	4,328	4,325	4,207	4,231	4,270
0-3 大尉	3,330	3,268	3,273	3,320	3,534	3,554	3,429	3,634	3,549	3,590	3,715
0-2 中尉	1,028	1,094	1,146	1,158	1,142	1,201	1,195	1,139	1,172	1,238	1,318
0-1 少尉	1,026	1,049	1,078	1,153	1,126	1,049	1,048	1,070	1,131	1,227	1,317
W-5上級兵曹長5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-4上級兵曹長4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-3上級兵曹長3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-2上級兵曹長2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W-1兵曹長1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
士官階級不明	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0
E-9 最先任上級曹長	1,972	1,965	1,933	1,907	1,894	1,913	1,970	2,021	2,063	2,071	2,084
E-8 前任／上級兵曹	4,736	4,695	4,606	4,547	4,529	4,433	4,438	4,476	4,548	4,599	4,665
E-7 一等軍曹／曹長	15,721	15,860	15,522	15,118	14,808	14,939	15,239	15,094	14,781	14,531	15,320
E-6 二等軍曹	19,889	19,648	19,165	18,852	18,655	18,586	18,838	19,654	20,372	20,921	20,618
E-5 三等軍曹	22,270	20,765	19,256	18,622	19,041	19,758	20,341	21,226	20,959	20,096	20,420
E-4 兵長	12,587	13,447	14,982	16,035	16,339	16,038	15,500	14,751	13,500	13,214	12,425
E-3 上等兵	12,534	12,452	13,022	14,014	13,897	12,870	12,004	11,897	11,813	12,243	12,745
E-2 一等兵	280	355	537	443	359	415	518	693	1,079	1,214	1,145
E-1 二等兵	567	930	1,023	807	777	903	1,061	1,759	2,265	2,226	2,070
階級不明	3	11	10	0	0	0	1	1	3	1	0
総数	104,990	104,710	104,771	105,301	105,388	105,029	105,093	106,923	106,864	106,964	107,778

イギリスの予備役総兵力の推移

陸軍	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
OF-9大将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OF-8中将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OF-7少将	4	4	5	5	7	5	6	6	6	5
OF-6准将	14	14	12	15	13	16	17	17	19	16
OF-5大佐	81	86	94	97	102	110	119	127	131	140
OF-4中佐	353	375	378	425	483	521	594	647	692	709
OF-3少佐	1,696	1,689	1,722	1,697	1,787	1,891	1,978	2,067	2,180	2,198
OF-2大尉	1,555	1,575	1,607	1,656	1,734	1,810	1,931	1,949	2,006	2,082
OF-1/OF(D)中尉/少尉/士官候補生	594	556	531	598	719	749	765	783	907	935
OR-9一等准尉	199	213	211	217	239	298	310	310	333	354
OR-8二等准尉	1,135	1,132	1,154	1,218	1,355	1,413	1,423	1,409	1,414	1,404
OR-7二等軍曹	1,163	1,208	1,243	1,277	1,384	1,413	1,449	1,487	1,523	1,525
OR-6三等軍曹	2,041	1,937	1,952	2,000	2,105	2,222	2,097	1,990	1,944	1,937
OR-4伍長	2,734	2,743	2,705	2,878	3,121	3,245	3,213	3,135	3,147	3,118
OR-3兵長	3,338	3,333	3,376	3,518	3,814	3,925	3,934	4,021	4,080	3,996
OR-1/OR-2二等兵・一等兵	11,077	10,373	8,588	9,837	11,809	12,323	11,873	11,518	11,547	11,614
全階級	25,984	25,238	23,578	25,438	28,672	29,941	29,709	29,466	29,929	30,033

海軍	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
OF-9大将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OF-8中将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OF-7少将	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
OF-6准将	0	0	0	0	1	2	2	2	3	7
OF-5大佐	0	15	15	16	16	12	12	12	11	13
OF-4中佐	0	72	77	82	112	115	126	131	127	139
OF-3少佐	0	338	350	394	429	459	454	479	498	491
OF-2大尉	0	304	304	283	294	307	329	340	340	343
OF-1/OF(D)中尉/少尉/士官候補生	0	90	99	128	193	230	237	267	267	242
OR-9一等准尉	0	22	29	42	53	78	85	107	121	133
OR-8二等准尉	0	12	14	14	15	15	23	28	25	25
OR-7上等軍曹	0	172	180	211	249	265	286	304	339	331
OR-6二等軍曹	0	185	200	200	227	238	251	262	260	266
OR-4伍長	0	224	223	242	282	287	302	309	308	318
OR-3上等兵	0	56	53	62	72	68	70	62	52	48
OR-1/OR-2二等兵・一等兵	0	1,120	1,306	1,483	1,598	1,479	1,418	1,550	1,523	1,719
全階級	0	2,610	2,850	3,157	3,541	3,555	3,595	3,854	3,874	4,077

空軍	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
OF-9大将	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OF-8中将	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
OF-7少将	0	0	0	0	1	4	5	5	5	8
OF-6准将	0	0	9	11	15	18	20	19	20	25
OF-5大佐	0	1	2	1	4	5	8	11	13	20
OF-4中佐	0	19	35	46	49	60	83	102	121	139
OF-3少佐	0	58	81	93	104	118	163	202	226	250
OF-2大尉	0	101	122	145	161	174	209	252	260	288
OF-1/OF(D)中尉/少尉/士官候補生	0	40	39	44	52	49	40	26	31	30
OR-9一等准尉	0	26	38	45	50	58	90	118	142	152
OR-8二等准尉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OR-7飛行軍曹/技能兵長	0	45	49	60	90	102	134	148	162	176
OR-6軍曹	0	132	141	167	190	221	244	290	299	314
OR-4伍長	0	231	248	262	292	326	374	385	419	444
OR-3伍長代理	0	18	37	34	34	33	40	42	35	42
OR-1/OR-2航空機兵/上級航空機兵	0	869	918	1,310	1,500	1,558	1,541	1,482	1,472	1,413
全階級	0	1,540	1,719	2,218	2,542	2,726	2,952	3,083	3,205	3,301

[参考] どの予備役に従事できるのか? Q&A / Recensement citoyen : Dans quelle réserve peut-on s'engager ? Question-réponse

- ・志願者が公共の利益に奉仕するための予備軍制度には、軍事予備役、警察市民予備役、市民予備役、保健予備役等がある。
- ・年齢とプロフィールの条件は、選択した任務/職種によって異なる。
- ・志願者だけで構成される無給の予備役もあれば、志願者に手当を支払っている予備役もある。

軍務を担う予備役

*は、重大な危機が発生した場合、国家安全保障予備役に召喚される可能性がある予備役。(召集期間は30日間/回で1回更新される可能性がある。)

予備役の種類	年齢	志願者のプロフィール	契約期間	活動日数	補償内容	組織
* 軍事作戦予備役	17歳から	身体的および医学的に健康な志願者	1~5年の契約(更新可能)	年間最大60日。必要に応じて、期間を年間210日に延長可	賃金はランクによって異なる	軍と国家憲兵隊
* 国家警察運用予備力	18~67歳	身体的・医学的に健康な志願者、元警察官、元警備補助員	1~5年契約	一般志願者の場合は年間最大90日、元警察官、元警備補助員の場合は150日	報酬は等級および勤務地により異なる	国家警察
* 刑務所市民予備役	65歳まで	刑務所の管理部門に所属経験のある身体的、医学的に健康な年金受給者	最低1年の契約(更新可能)	年間最大150日	1日の総報酬は105ユーロ(約13,000円)	刑務所管理部門
市民防衛・治安維持予備役	17歳から	国防に関する事項についての技能、経験、関心から軍当局が承認した志願者	3年更新の認定資格	必要に応じた特別対応	補償や手当なし(旅費のみが支払われる)	軍と国家憲兵隊
国民教育市民予備役	18歳から	特定のプロフィールはない	制限なし	必要に応じた特別対応	補償や手当なし	学校や教育機関
地域統合のための市民予備役	18歳から	特定のプロフィールはない	制限なし	必要に応じた特別対応	補償や手当なし	行政、公的機関、団体
* 市民安全予備役	無条件	特定のプロフィールはない	1~5年間(更新可能)	週24時間の制限内で、年間最大15営業日	一定の条件下で、手当が支給される	自治体
国家警察の市民予備役	18歳から	行政の基準を満たした志願者	1年間(更新可能)	定期的な割り当ての場合は週に最大24時間、1回限りの割り当ての場合は24時間/週以上	補償や手当なし	国家警察
一般市民予備役	16歳から	特定のプロフィールはない	1年間(更新可能)	臨時対応(1回限りまたは定期的)	補償や手当なし	公共サービス、コミュニティ、または非営利団体
* 公衆衛生予備役	無条件	在職中/無職/退職後5年未満の医療従事者、医学/歯学/薬学の学生、助産師/医療補助者の単位を取得した学生	3年契約(更新可能)	暦年で最大45日間(例外的に90日間まで延長可能)	有給または公務員の予備役の報酬は維持される。非正規雇用者、失業者、退職者、学生の予備役は手当が受けられる	健康緊急時の準備と対応施設(EPRUS: 仏の保健安全機関)
消防団	16~56歳(一般的な場合) パリとマルセイユは18~25歳	医学的および身体的に健康な志願者	一般的なケース: 5年間従事(更新可能) ※パリの場合: 10か月契約(更新不可)	臨時対応(1回限りまたは定期的)	報酬はランクによって異なる	省庁別消防・救助サービス
市民の消防および救助サービスの予備役	16歳から	犯罪の有罪判決の対象になっていない志願者	1~5年(更新可能)	臨時対応(1回限りまたは定期的)	補償や手当なし	省庁または地域の消防・救助サービス